

福生市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
【抜粋版】

令和6年3月

福 生 市

目 次

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

I 調査の概要.....	1
II 調査結果.....	3
1 就学前保護者.....	3
2 小学生保護者.....	19
3 中学生保護者.....	27
4 小学生本人.....	33
5 中学生本人.....	42

子どもの権利に関するアンケート調査

I 調査の概要.....	47
1 調査目的.....	47
2 調査設計.....	47
3 回収結果（有効回収数）.....	48
4 調査結果の表示方法.....	48
6 子どもの権利.....	49

I 調査の概要

1 調査目的

第三期（令和7年度～令和11年度）計画の策定にあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、アンケート調査を実施するものです。

2 調査設計

（1）調査対象者

令和5年11月1日時点において、福生市在住の0歳から15歳までの子どもの保護者、小学生高学年と中学生本人

（2）配布数

- ①就学前児童の保護者 1,200名
- ②小学生本人及び保護者 1,200名（本人分は小学4年生から小学6年生のみ）
- ③中学生本人及び保護者 600名

（3）調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

（4）抽出方法

住民基本台帳から無作為に抽出

（5）調査票発送日

令和5年12月8日（金）

（6）書面上提出締切日

令和5年12月28日（木）

3 回収結果（有効回収数）

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,200通	521通	43.4%
小学生保護者	1,200通	348通	29.0%
中学生保護者	600通	214通	35.7%
小学生本人	600通	155通	19.2%
中学生本人	600通	209通	34.8%

4 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

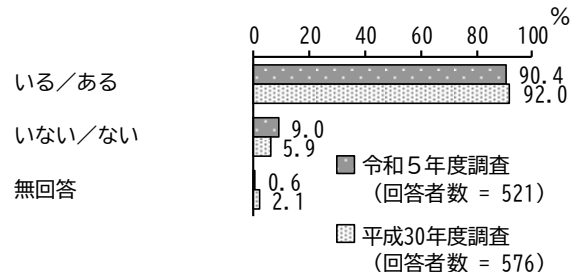
1 就学前保護者

(2) 子育ての環境について

問 11 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 90.4%、「いない／ない」の割合が 9.0%となっています。

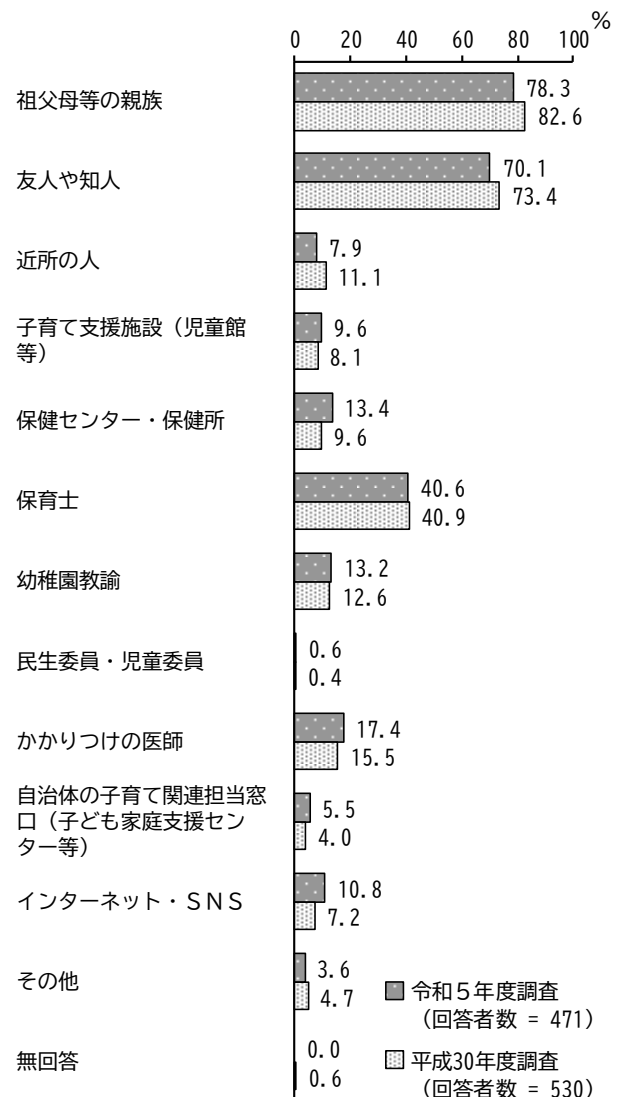
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 11-1 問 11 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 70.1%、「保育士」の割合が 40.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



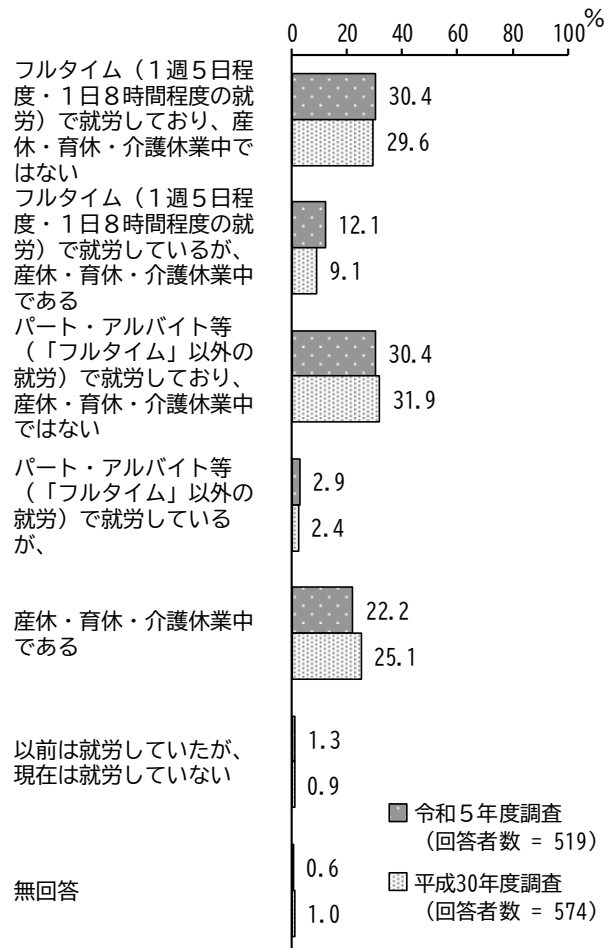
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 13 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「産休・育休・介護休業中である」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

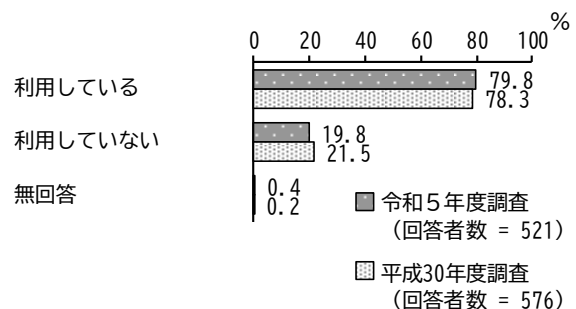


(4) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 16 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が 79.8%、「利用していない」の割合が 19.8%となっています。

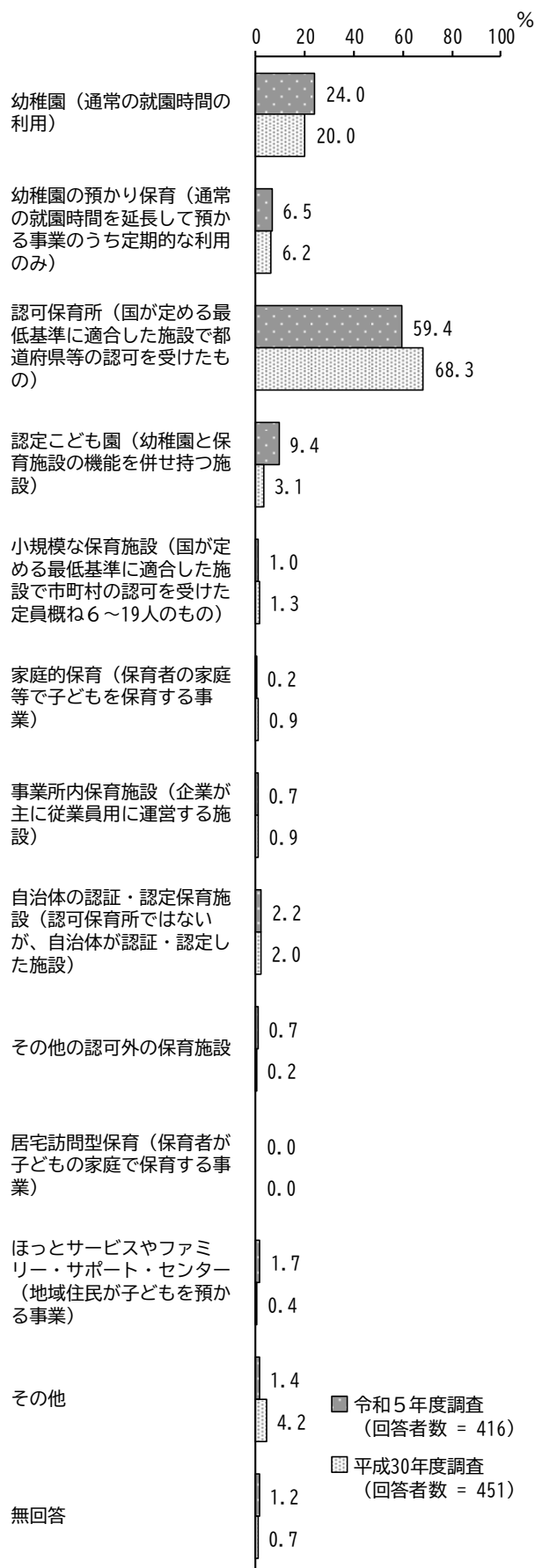
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16－1 問 16－1～問 16－4は、問 16 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 24.0%となっています。

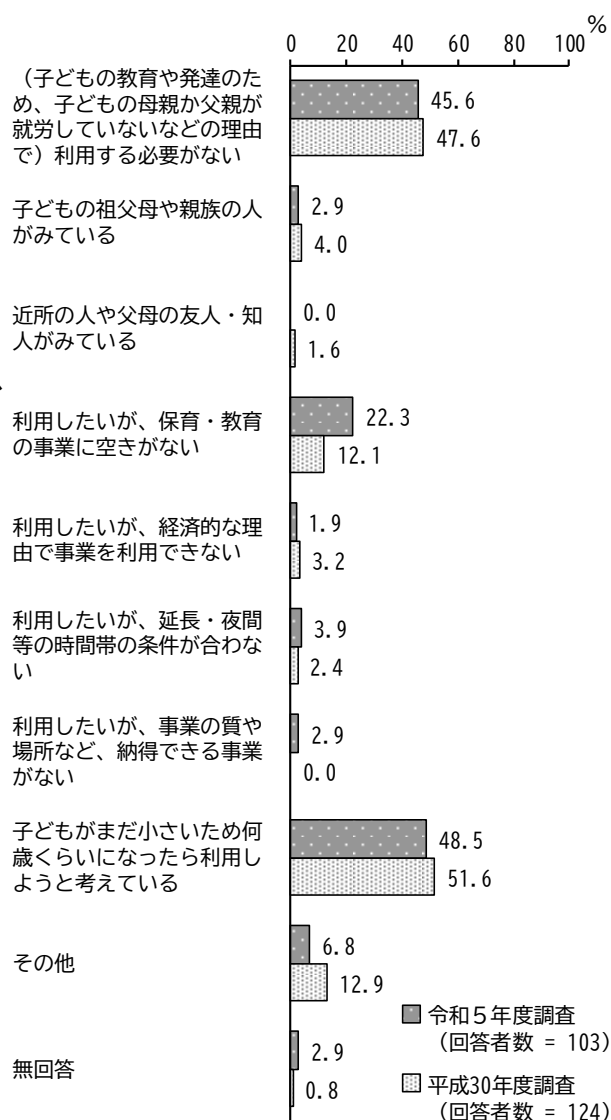
平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が減少しています。



問 16－5 問 16 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」の割合が 45.6%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 22.3%となっています。

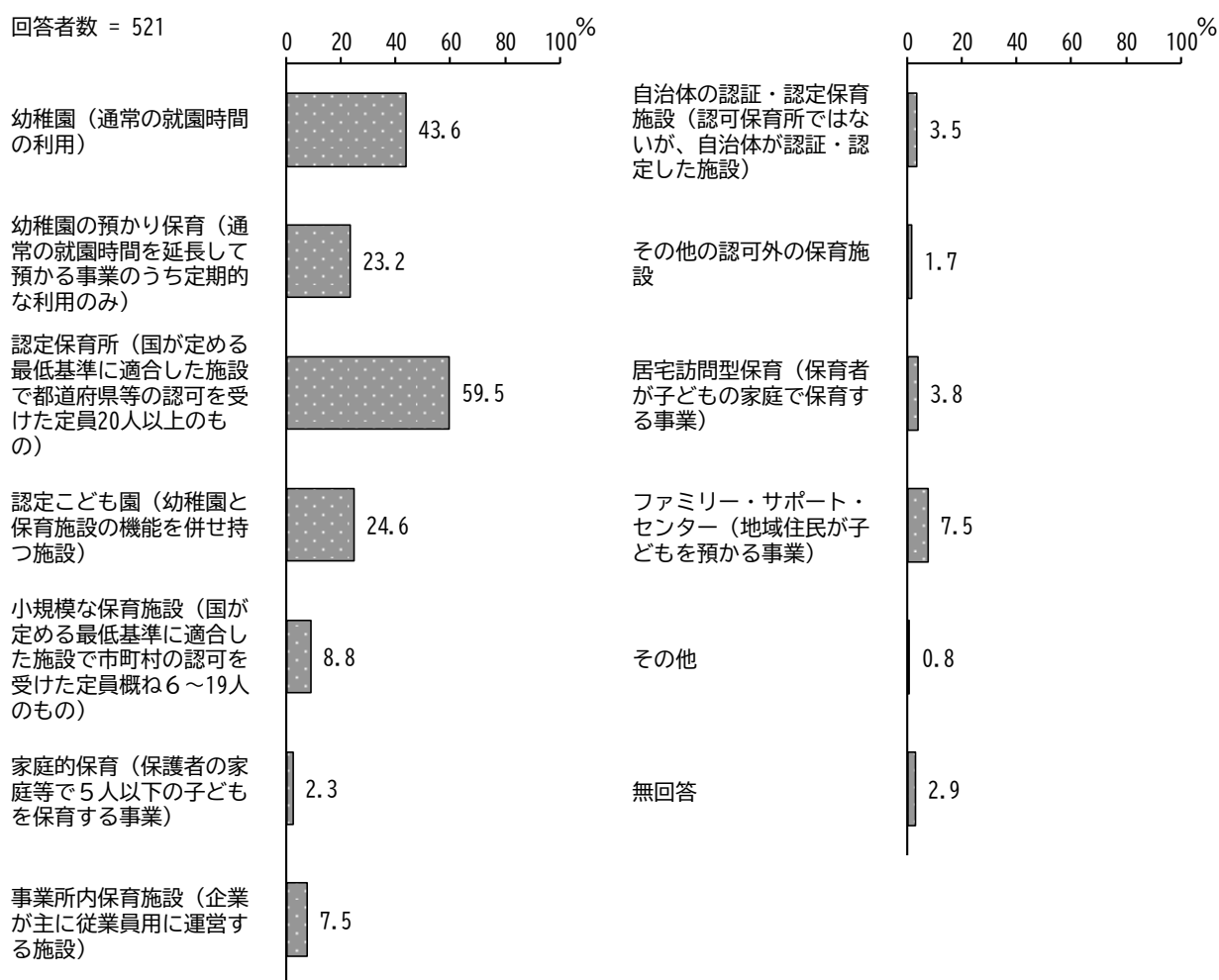
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が増加しています。



問 18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認定保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「認定保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 43.6%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 24.6%となっています。

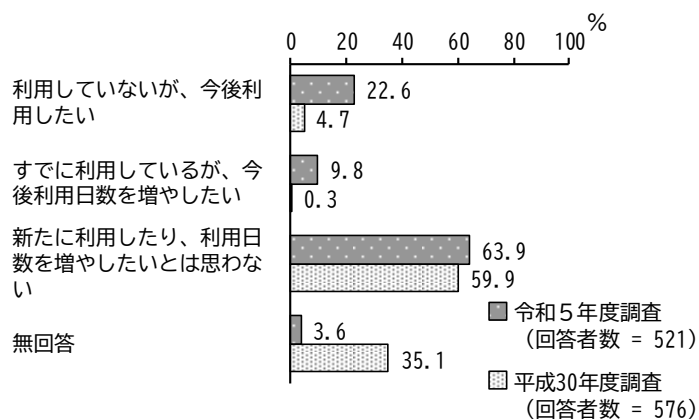
回答者数 = 521



問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 22.6%となっています。

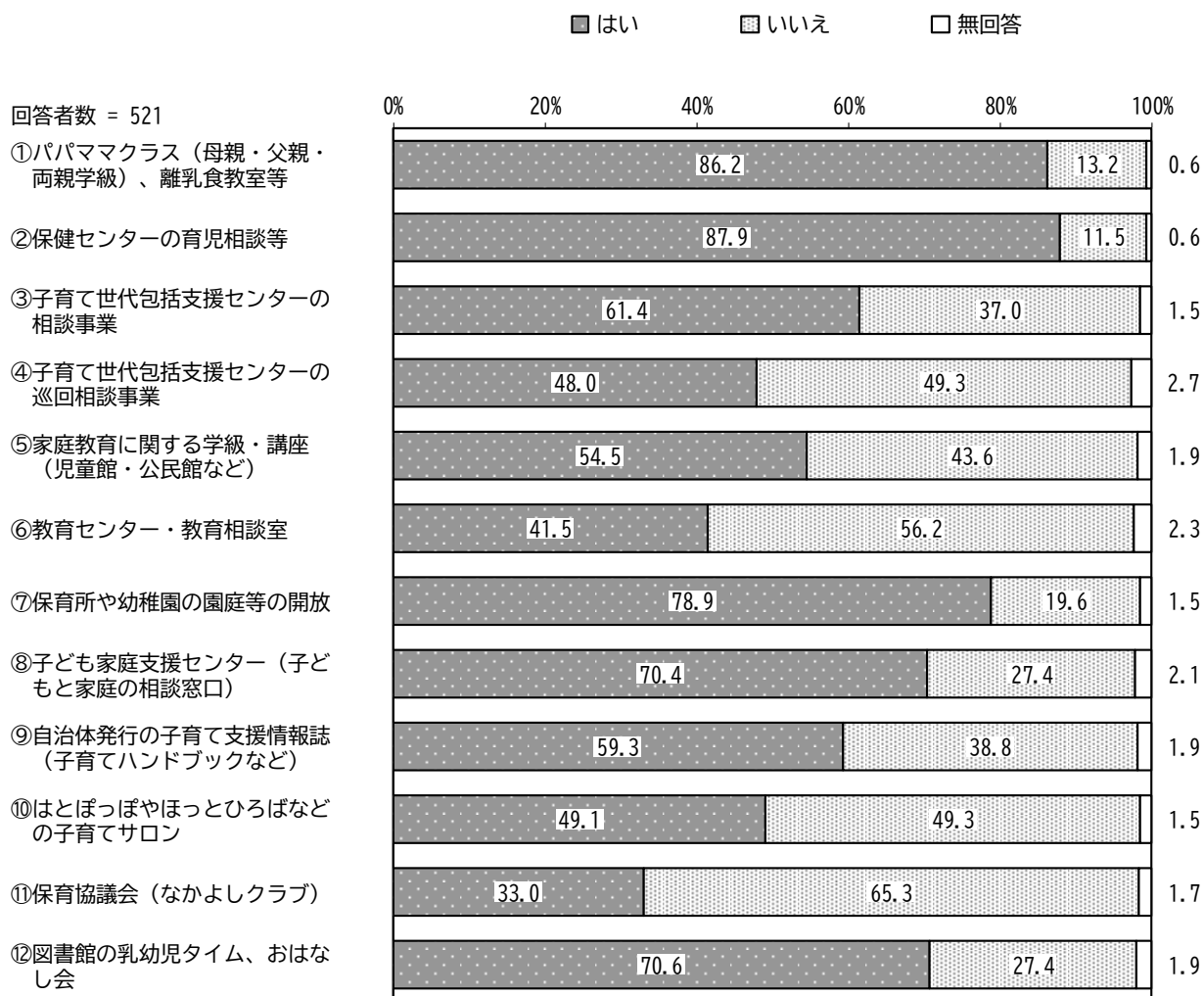
平成 30 年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が増加しています。



問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

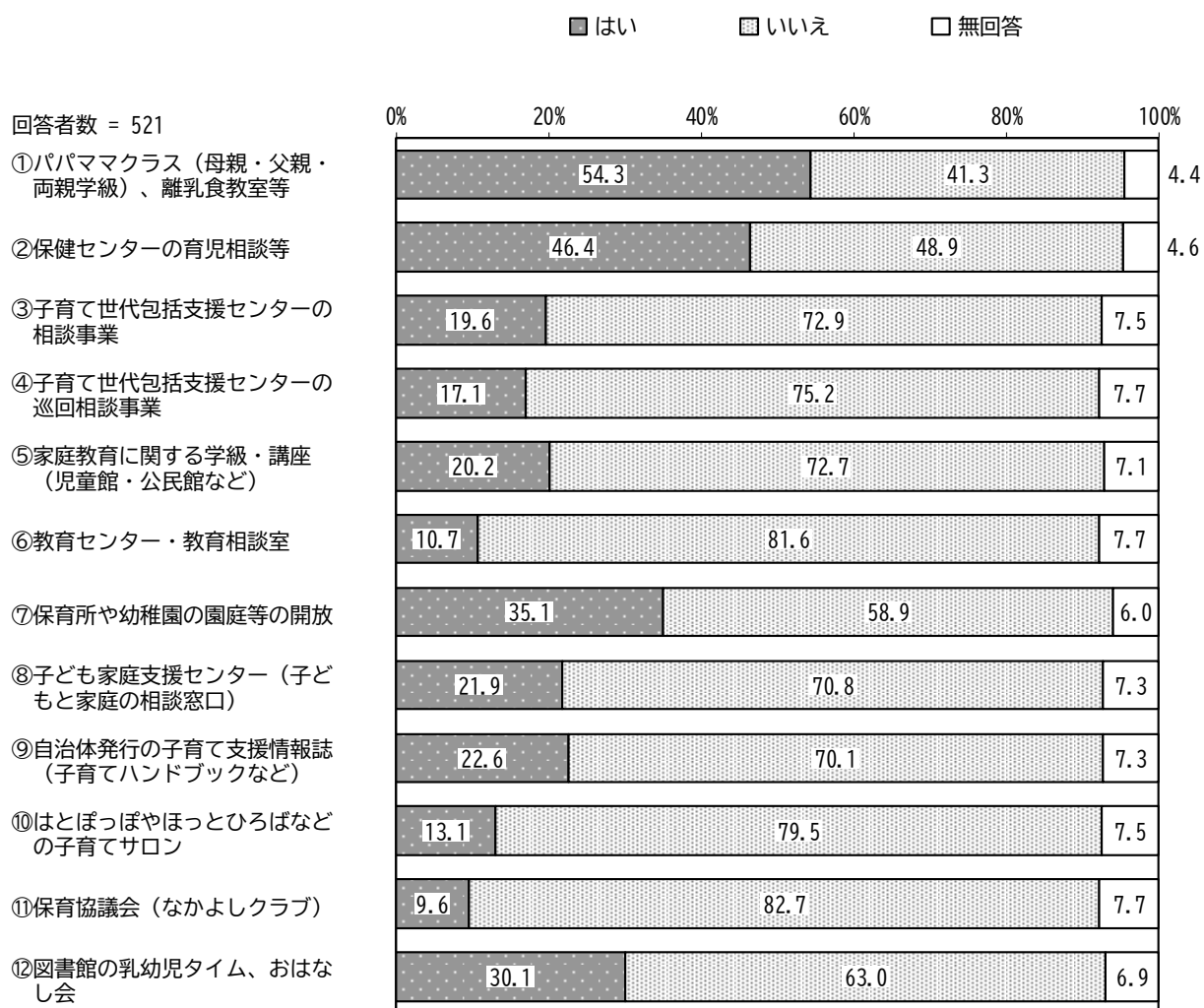
A知っている

『②保健センターの育児相談等』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑪保育協議会（なかよしクラブ）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



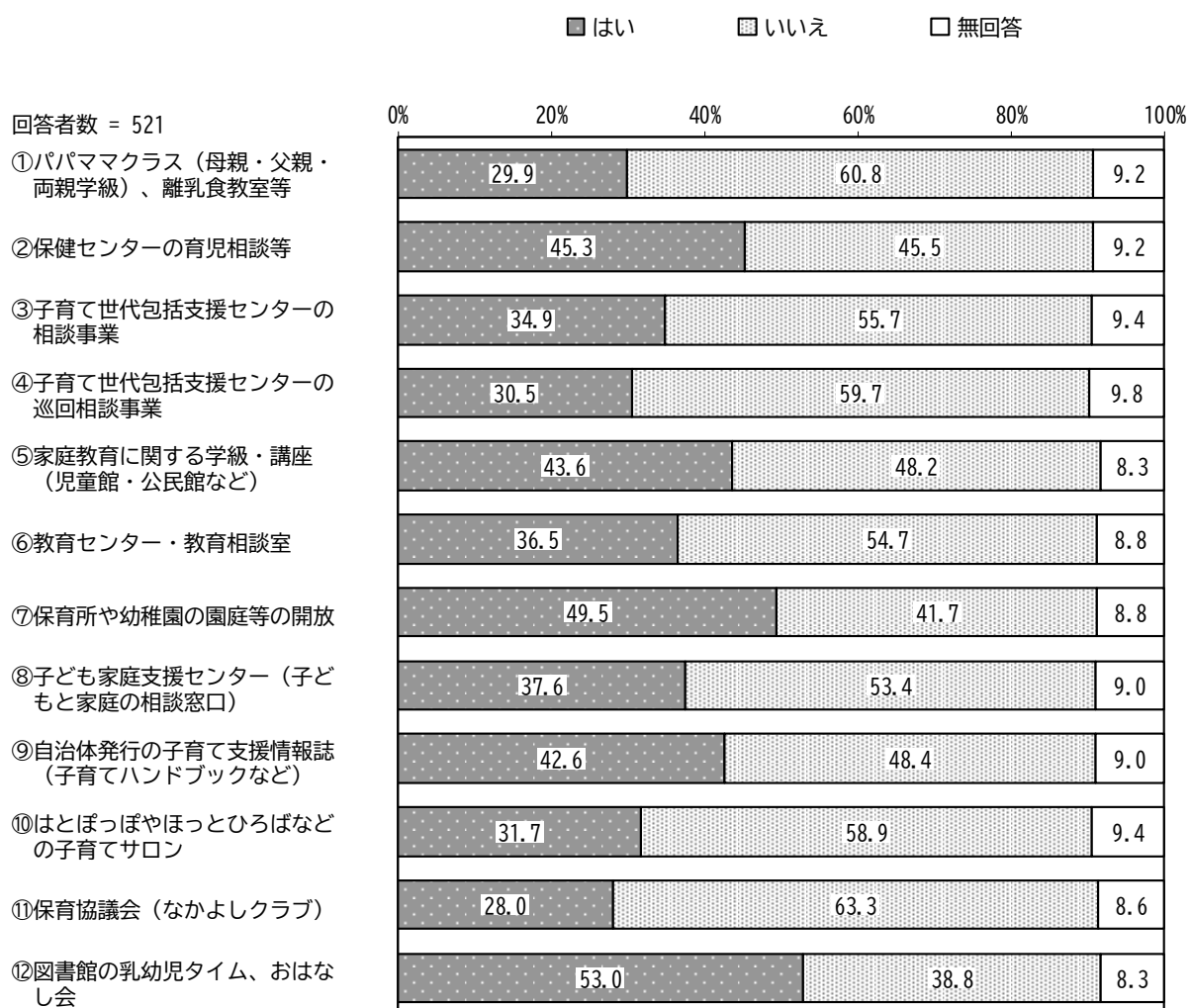
B これまでに利用したことがある

『①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑪保育協議会（なかよしクラブ）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい

『⑪保育協議会（なかよしクラブ）』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会』で「はい」の割合が高くなっています。

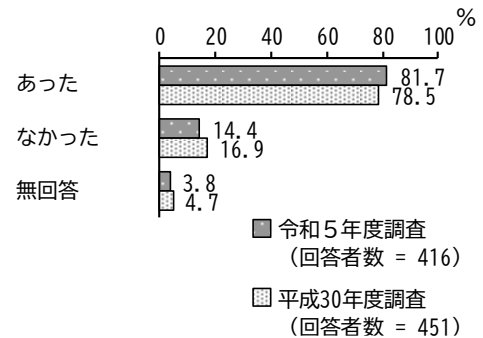


(7) お子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 25 にお進みください。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が81.7%、「なかった」の割合が14.4%となっています。

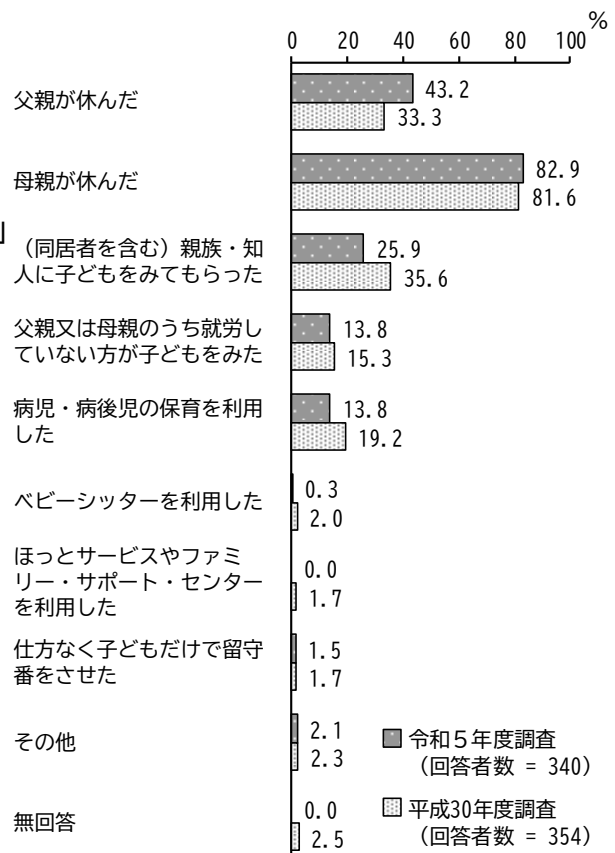
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数についても（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日と数えてください。）

「母親が休んだ」の割合が82.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が43.2%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が25.9%となっています。

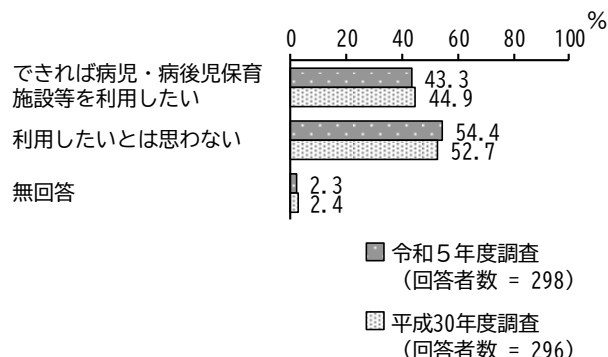
平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「病児・病後児の保育を利用した」の割合が減少しています。



問 24－2 問 24－1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 43.3%、「利用したいとは思わない」の割合が 54.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



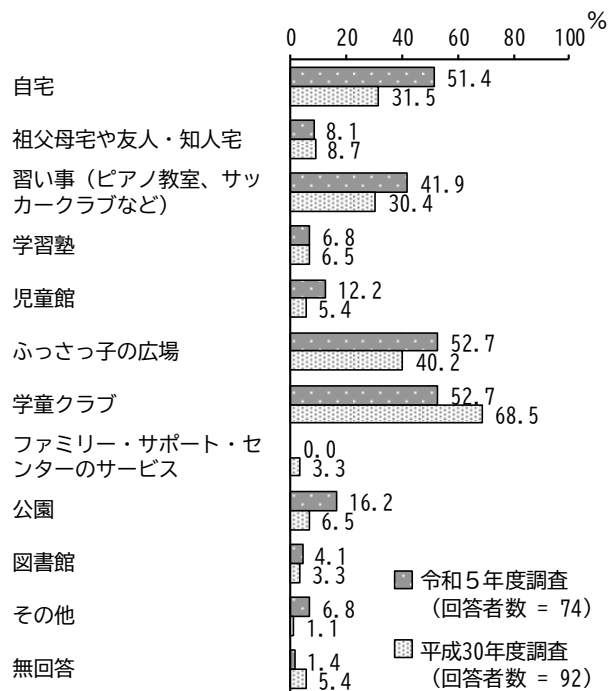
(9) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 お子さんについて、低・中学年（1～4年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

「ふっさっ子の広場」「学童クラブ」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 51.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」「児童館」

「ふっさっ子の広場」「公園」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」の割合が減少しています。

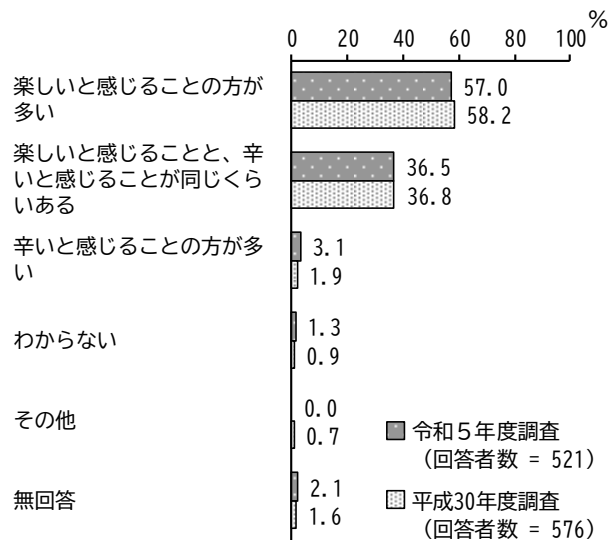


(11) あなたの子育てについて

問 33 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多いい」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が 36.5%となっています。

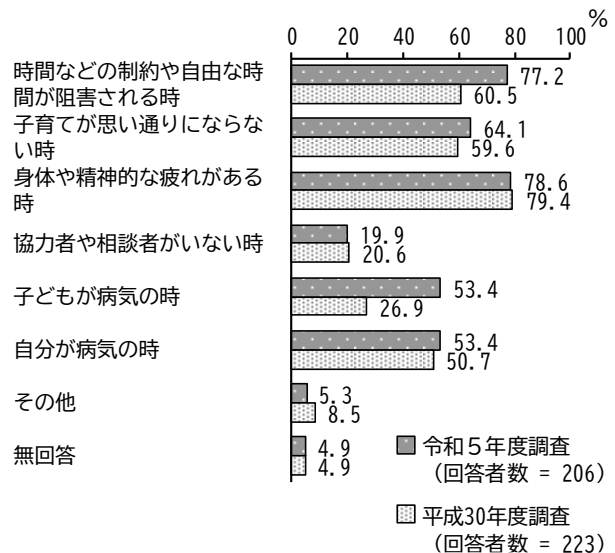
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 33-2 問 33 で「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「辛いと感じることの方が多いい」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が 77.2%、「子育てが思い通りにならない時」の割合が 64.1%となっています。

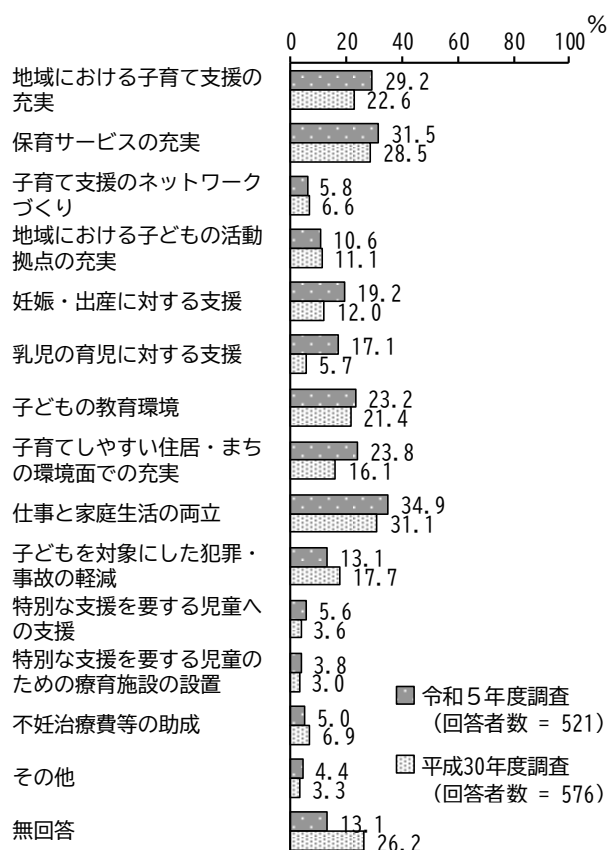
平成 30 年度調査と比較すると、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」「子どもが病気の時」の割合が増加しています。



問 35 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「仕事と家庭生活の両立」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」の割合が 31.5%、「地域における子育て支援の充実」の割合が 29.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「地域における子育て支援の充実」「妊娠・出産に対する支援」「乳児の育児に対する支援」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が増加しています。



【生活困窮別】 ※中央値…245 万円

生活困窮別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「乳児の育児に対する支援」の割合が高くなっています。

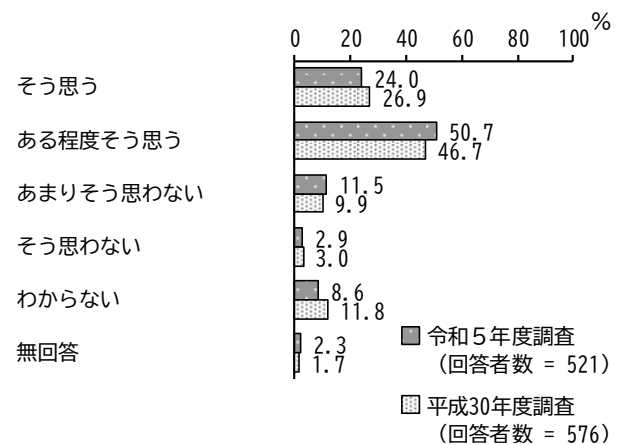
単位：％

区分	回答者数 (件)	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	乳児の育児に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	特別な支援を要する児童への支援	特別な支援を要する児童のための療育施設の設置	不妊治療費等の助成	その他	無回答
全 体	521	29.2	31.5	5.8	10.6	19.2	17.1	23.2	23.8	34.9	13.1	5.6	3.8	5.0	4.4	13.1
中央値の1／2未満	17	29.4	41.2	11.8	—	23.5	23.5	41.2	35.3	41.2	11.8	5.9	5.9	—	5.9	—
中央値の1／2以上中央値未満	21	28.6	52.4	14.3	9.5	28.6	38.1	14.3	23.8	23.8	14.3	—	4.8	4.8	—	4.8
中央値以上	427	29.5	30.9	5.6	12.2	18.3	15.7	22.0	24.8	37.2	12.6	5.2	3.0	4.9	5.2	12.2

問 36 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が50.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が24.0%、「あまりそう思わない」の割合が11.5%となっています。

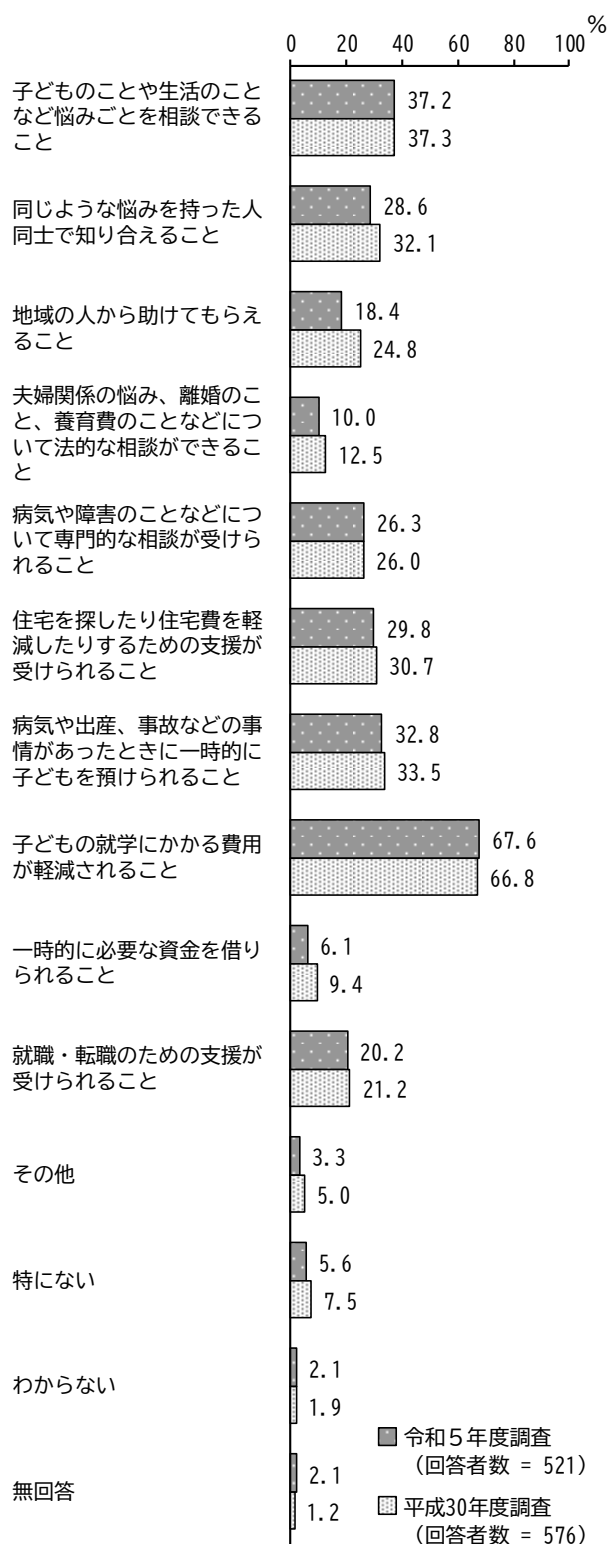
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 43 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はあるどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 37.2%、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が 32.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「地域の人から助けられること」の割合が減少しています。



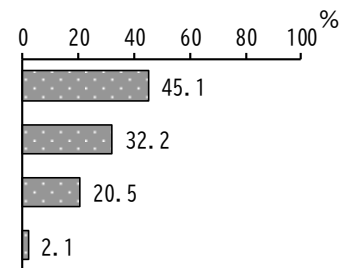
(12) 子どもの権利について

問 48 あなたは、『子どもの権利』を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 32.2%、「知らなかった」の割合が 20.5%となっています。

回答者数 = 521

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

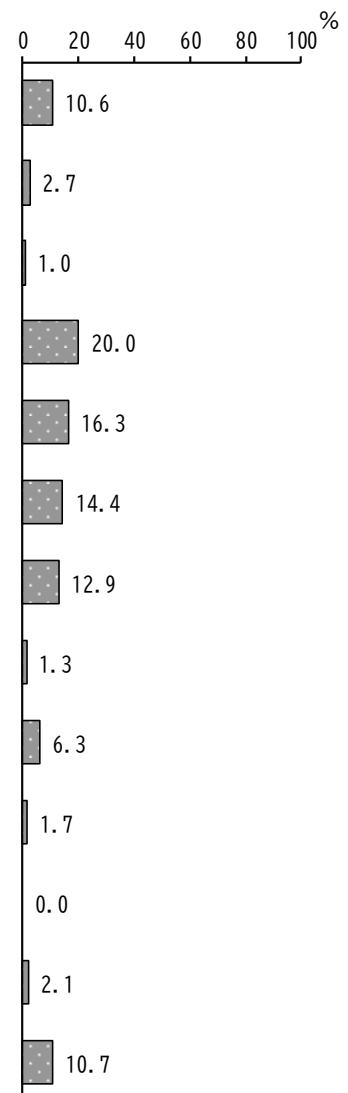


問 49 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が 16.3%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 14.4%となっています。

回答者数 = 521

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられる
無回答



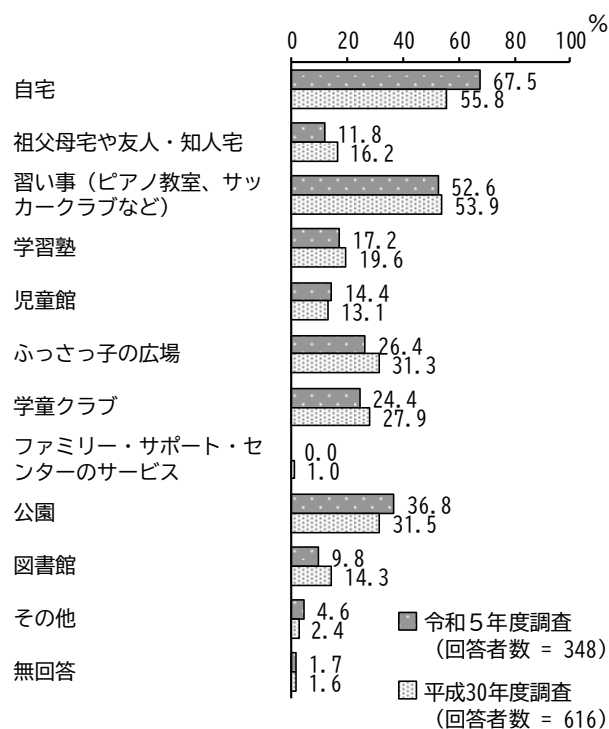
2 小学生保護者

(6) お子さんの放課後の過ごし方について

問 16 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間表記でご記入ください。

「自宅」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が 52.6%、「公園」の割合が 36.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」「公園」の割合が増加しています。

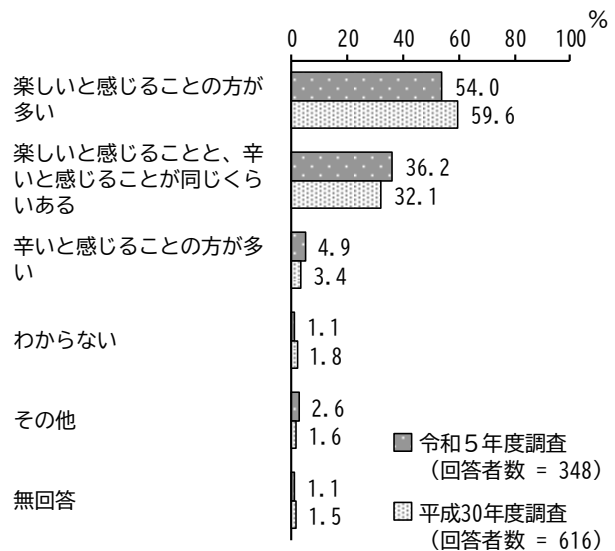


(7) あなたの子育てについて

問 20 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が54.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が36.2%となっています。

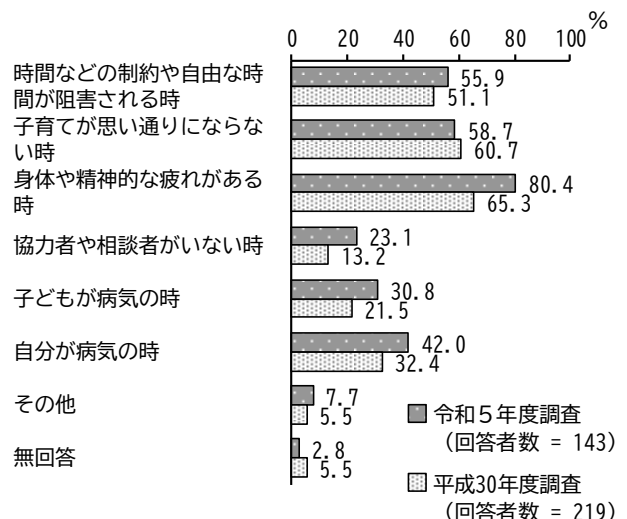
平成30年度調査と比較すると、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が減少しています。



問 20-2 問 20 で「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「3. 辛いと感じることの方が多い」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が80.4%と最も高く、次いで「子育てが思い通りにならない時」の割合が58.7%、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が55.9%となっています。

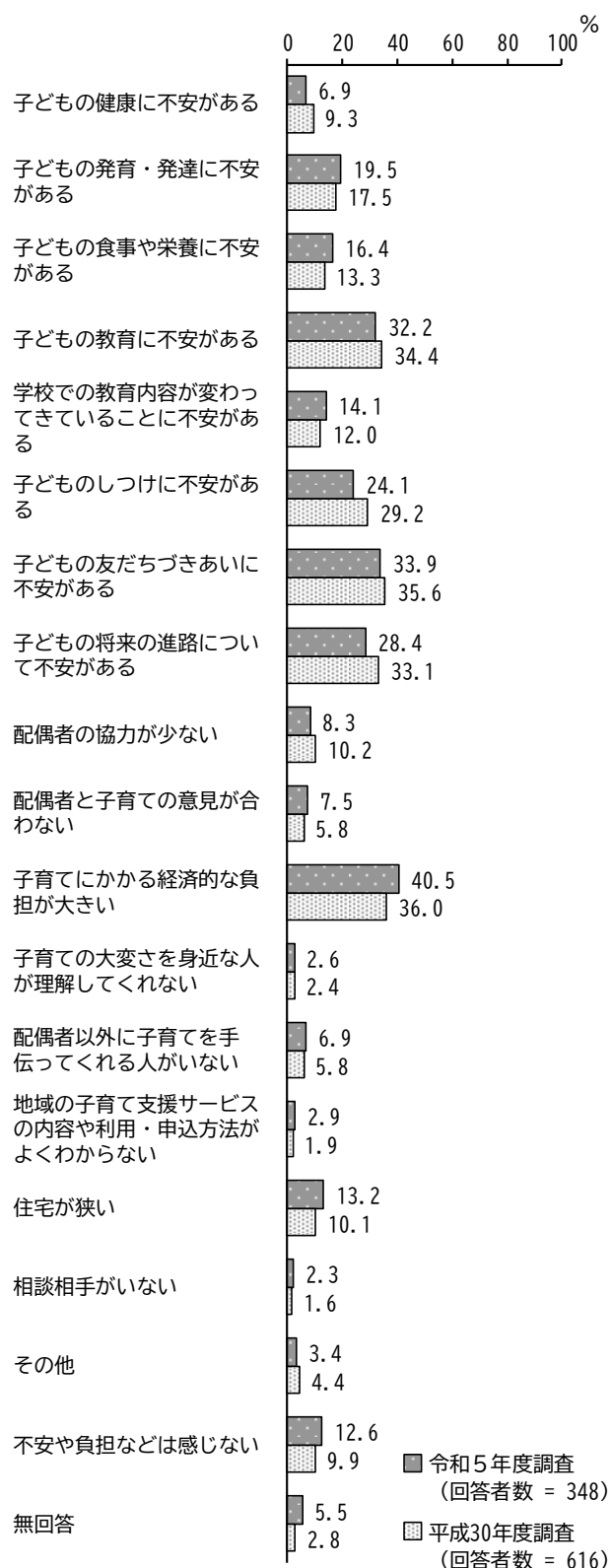
平成30年度調査と比較すると、「身体や精神的な疲れがある時」「協力者や相談者がいない時」「子どもが病気の時」「自分が病気の時」の割合が増加しています。



問 22 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに不安がある」の割合が 33.9%、「子どもの教育に不安がある」の割合が 32.2%となっています。

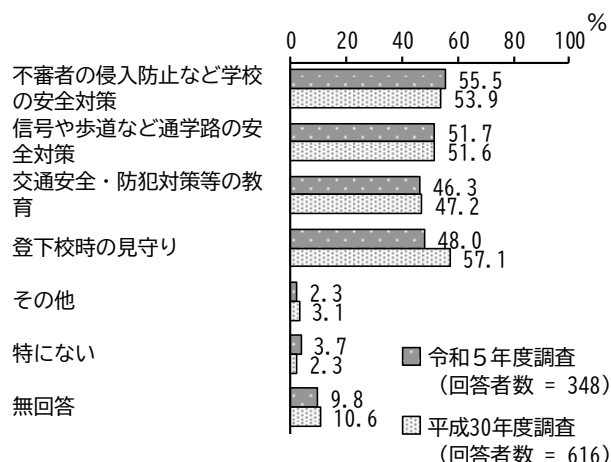
平成 30 年度調査と比較すると、「子どものしつけに不安がある」の割合が減少しています。



問 23 あなたは、子どもたちの安全・安心な学校での生活の充実のために、どのような防犯上の取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「不審者の侵入防止など学校の安全対策」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が 51.7%、「登下校時の見守り」の割合が 48.0%となっています。

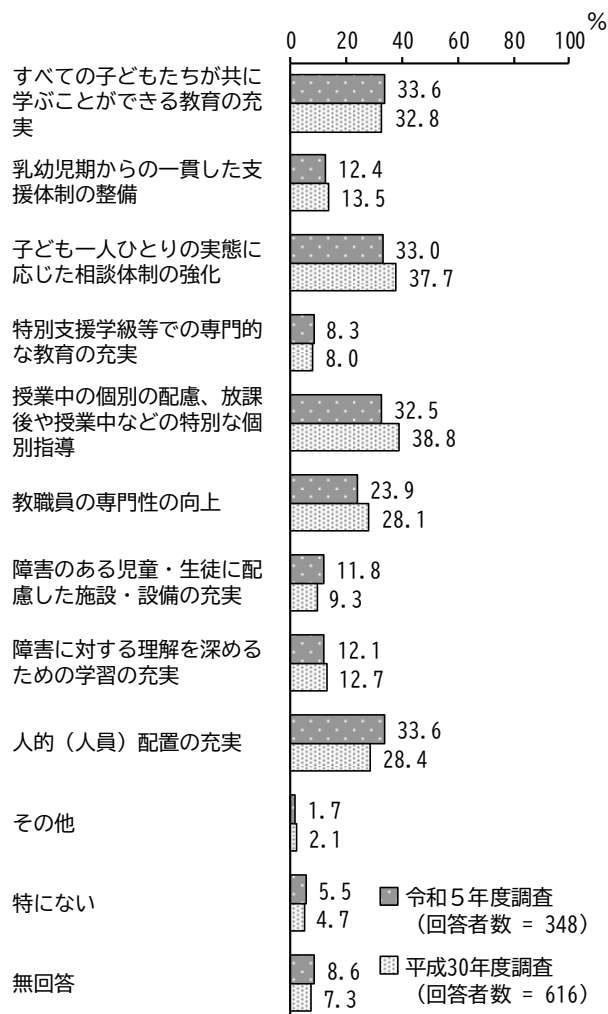
平成 30 年度調査と比較すると、「登下校時の見守り」の割合が減少しています。



問 24 一人ひとりに応じた支援の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」、「人的（人員）配置の充実」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が 33.0%となっています。

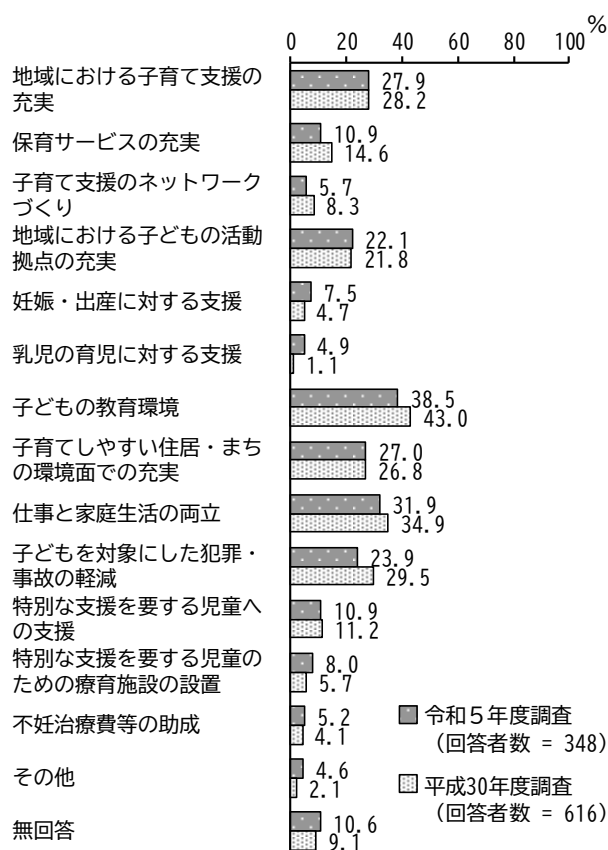
平成 30 年度調査と比較すると、「人的（人員）配置の充実」の割合が増加しています。一方、「授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導」の割合が減少しています。



問 25 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「子どもの教育環境」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立」の割合が 31.9%、「地域における子育て支援の充実」の割合が 27.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が減少しています。



【生活困窮別】 ※中央値…245 万円

生活困窮別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「仕事と家庭生活の両立」の割合が高くなっています。

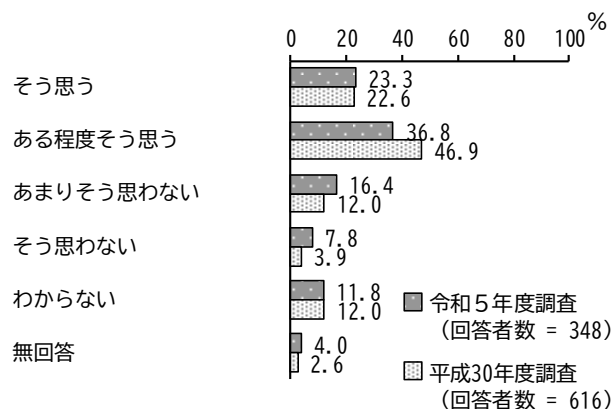
単位：%

区分	回答者数 (件)	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	乳児の育児に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	特別な支援を要する児童への支援	特別な支援を要する児童のための療育施設の設置	不妊治療費等の助成	その他	無回答
全 体	348	27.9	10.9	5.7	22.1	7.5	4.9	38.5	27.0	31.9	23.9	10.9	8.0	5.2	4.6	10.6
中央値の1 / 2未満	4	75.0	—	25.0	—	—	—	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—
中央値の1 / 2以上中央値未満	13	15.4	15.4	7.7	7.7	—	7.7	15.4	30.8	53.8	30.8	23.1	15.4	—	—	7.7
中央値以上	278	29.1	11.5	5.4	24.1	8.3	4.7	38.8	28.1	32.4	23.7	11.2	7.9	4.7	4.7	9.7

問 26 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が36.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が23.3%、「あまりそう思わない」の割合が16.4%となっています。

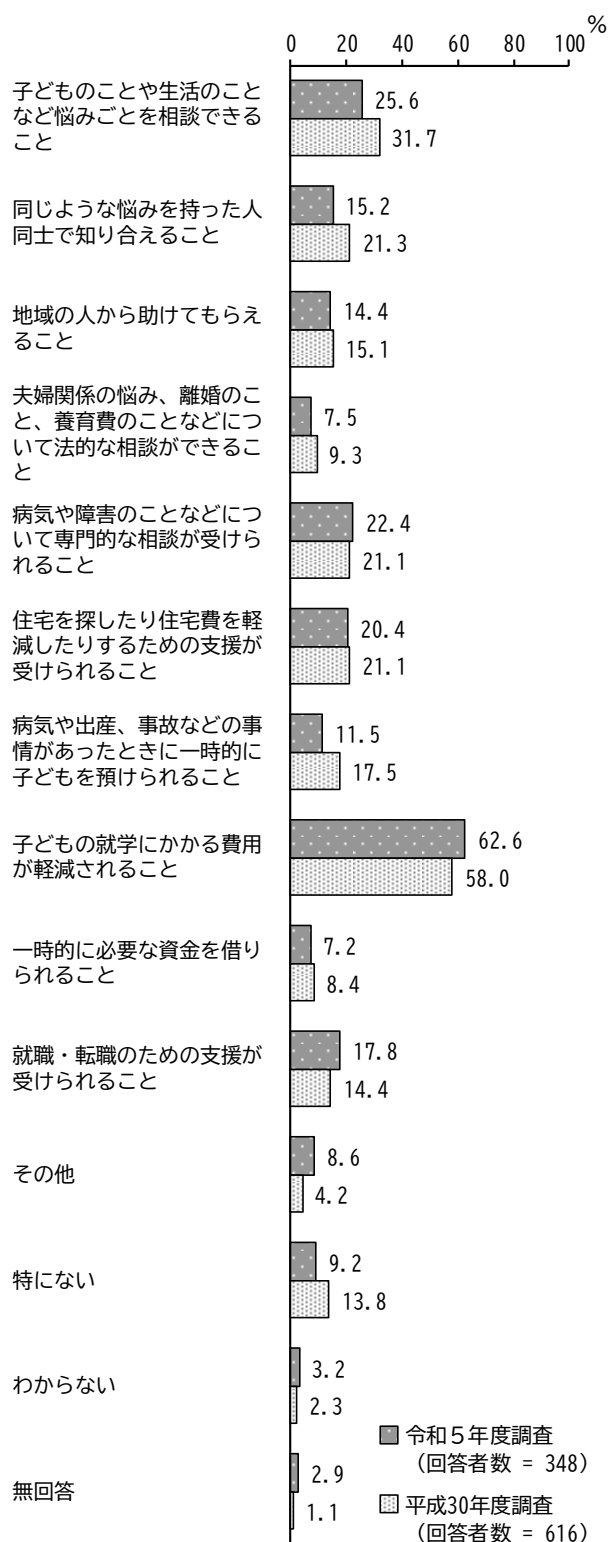
平成30年度調査と比較すると、「ある程度そう思う」の割合が減少しています。



問 33 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどうのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 25.6%、「病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること」の割合が 22.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が減少しています。



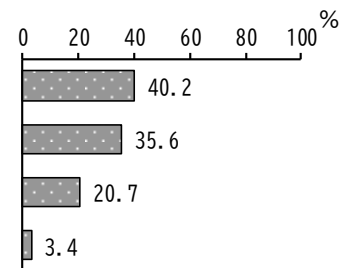
(8) 子どもの権利について

問 38 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 35.6%、「知らなかった」の割合が 20.7%となっています。

回答者数 = 348

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

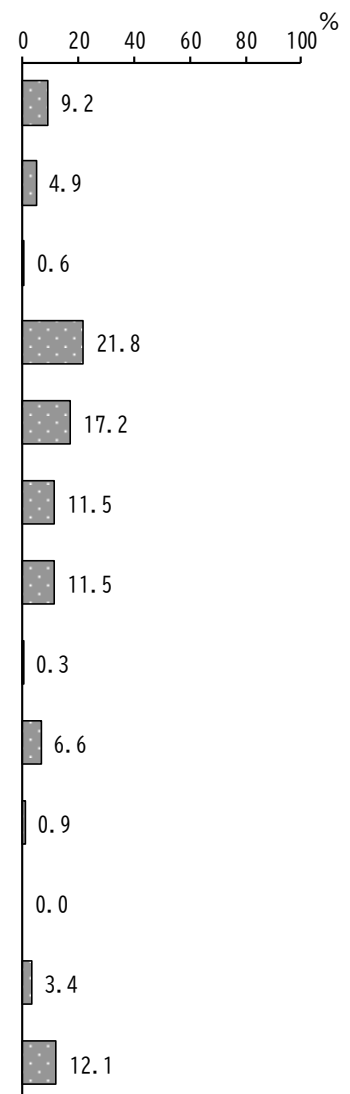


問 39 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が 17.2%、「自分の考えを自由に言えること」、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 11.5%となっています。

回答者数 = 348

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
無回答



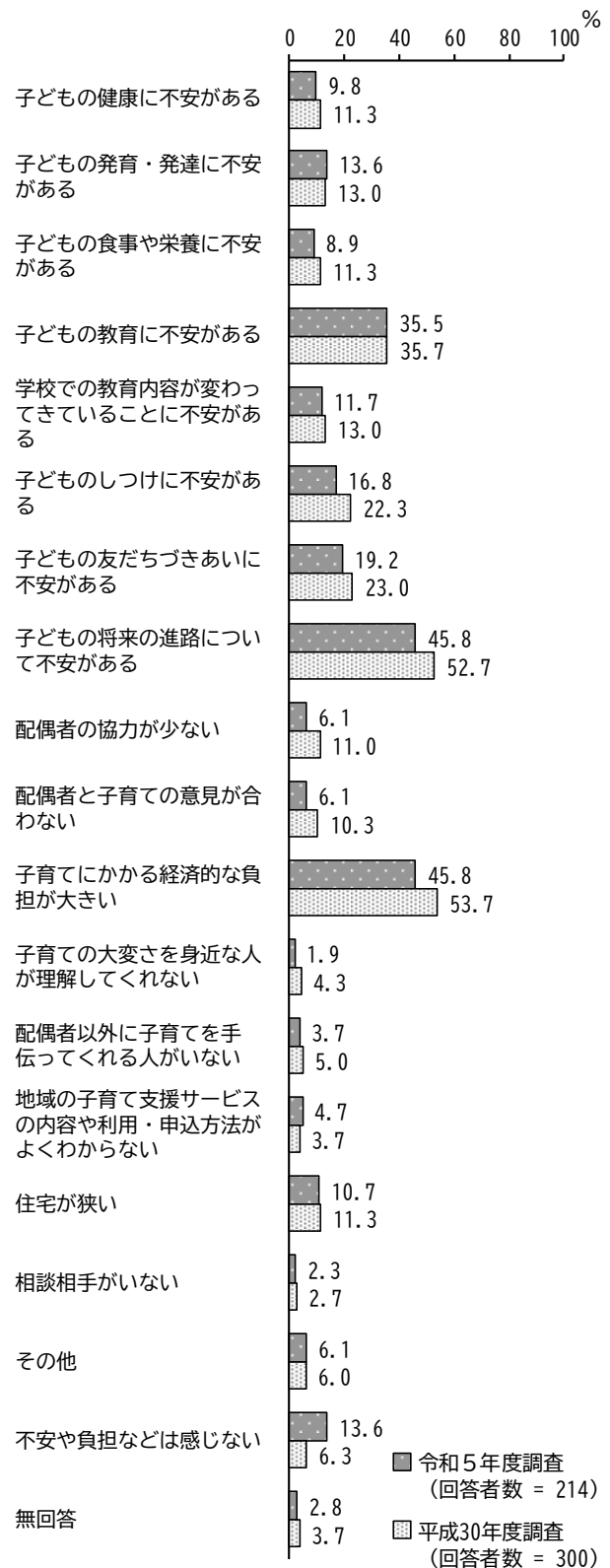
3 中学生保護者

(2) 子育ての環境について

問 15 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの将来の進路について不安がある」、
「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が45.8%と最も高く、次いで「子どもの教育に不安がある」の割合が35.5%となっています。

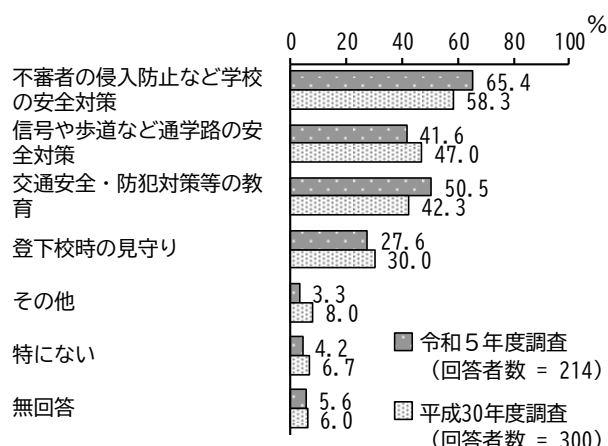
平成30年度調査と比較すると、「不安や負担などは感じない」の割合が増加しています。一方、「子どものしつけに不安がある」「子どもの将来の進路について不安がある」「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が減少しています。



問 16 あなたは、子どもたちの安全・安心な学校での生活のために、どのような防犯上の取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「不審者の侵入防止など学校の安全対策」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が 50.5%、「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が 41.6%となっています。

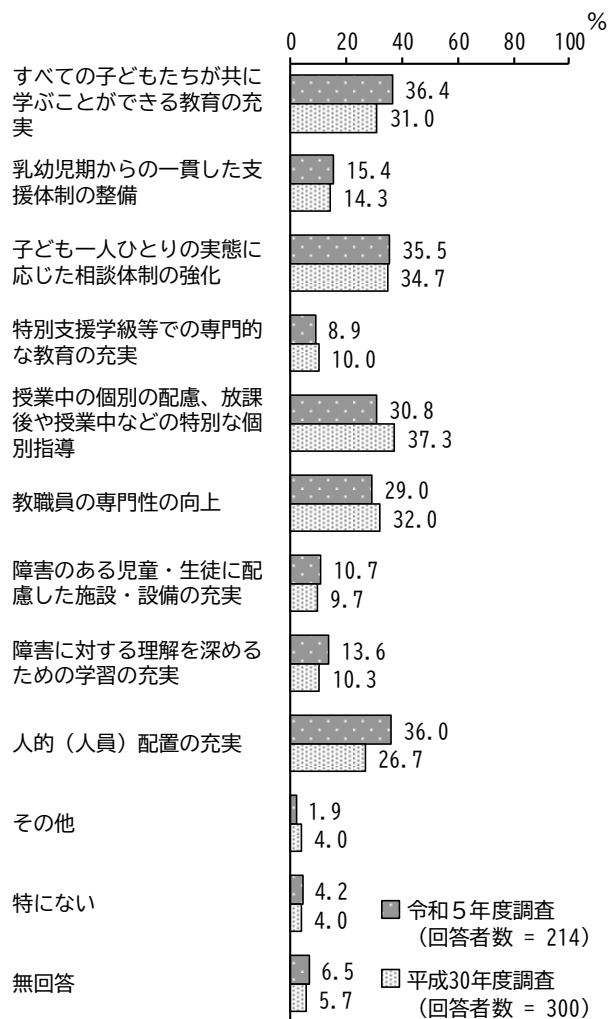
平成 30 年度調査と比較すると、「不審者の侵入防止など学校の安全対策」「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が増加しています。一方、「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が減少しています。



問 17 一人ひとりに応じた支援の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「人的（人員）配置の充実」の割合が 36.0%、「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が 35.5%となっています。

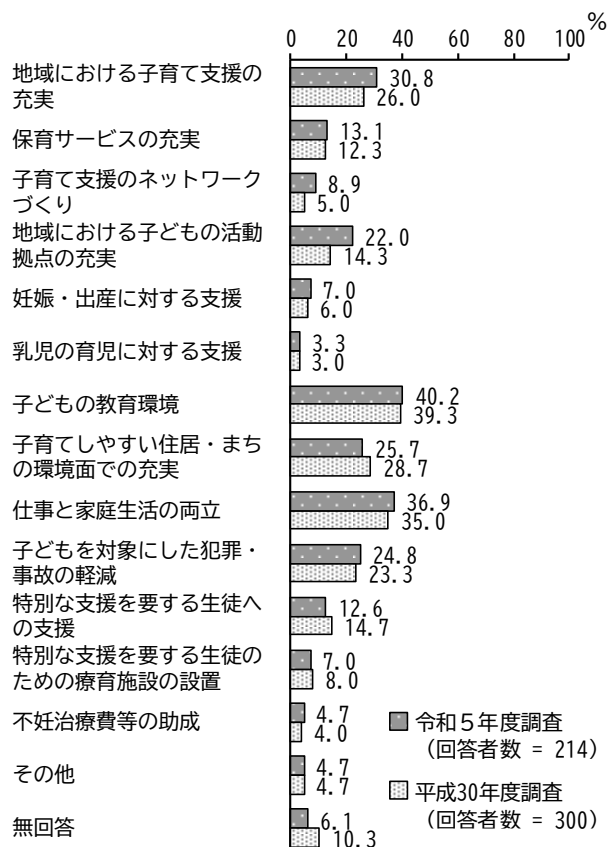
平成 30 年度調査と比較すると、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」「人的（人員）配置の充実」の割合が増加しています。一方、「授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導」の割合が減少しています。



問 18 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「子どもの教育環境」の割合が40.2%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立」の割合が36.9%、「地域における子育て支援の充実」の割合が30.8%となっています。

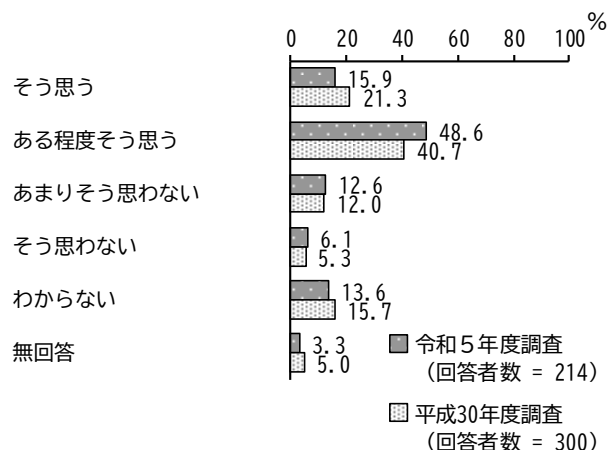
平成30年度調査と比較すると、「地域における子どもの活動拠点の充実」の割合が増加しています。



問 19 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が48.6%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が15.9%、「わからない」の割合が13.6%となっています。

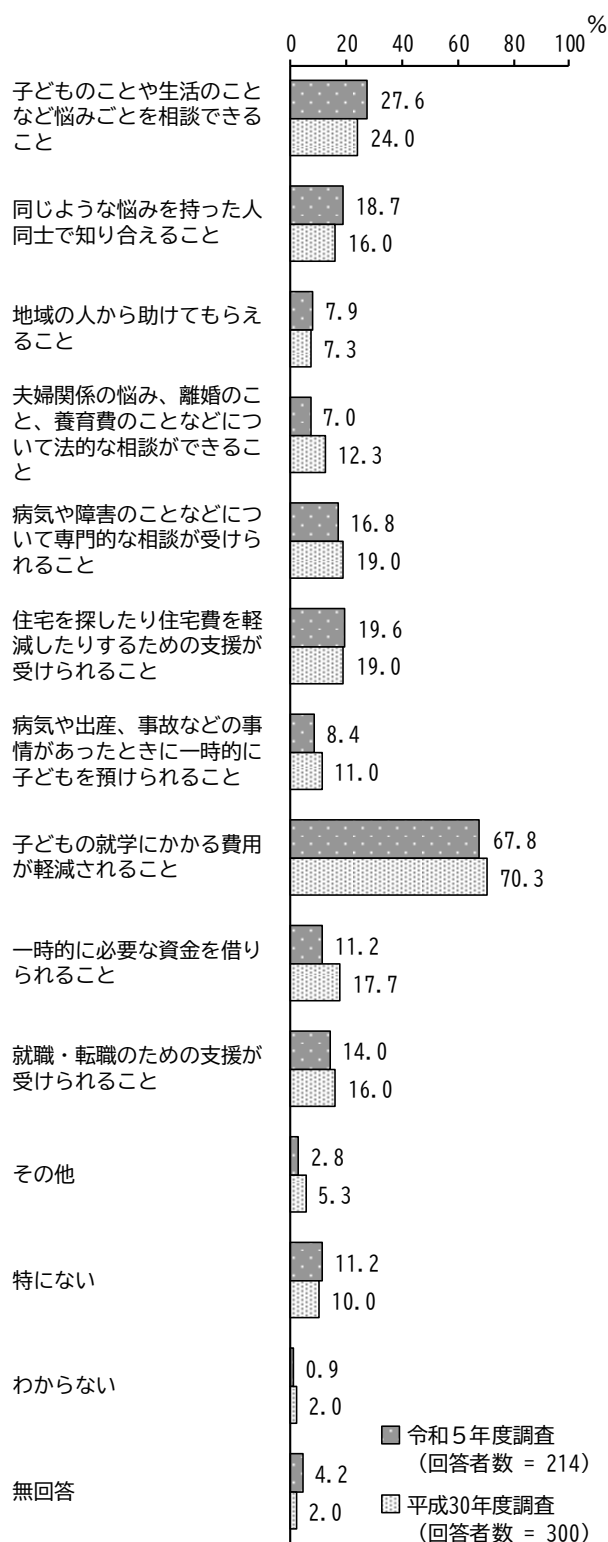
平成30年度調査と比較すると、「ある程度そう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



問 26 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はあるどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 27.6%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が 19.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「夫婦関係の悩み、離婚のこと、養育費のことなどについて法的な相談ができること」「一時的に必要な資金を借りられること」の割合が減少しています。



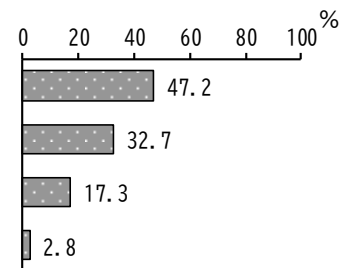
(6) 子どもの権利について

問 31 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 32.7%、「知らなかった」の割合が 17.3%となっています。

回答者数 = 214

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

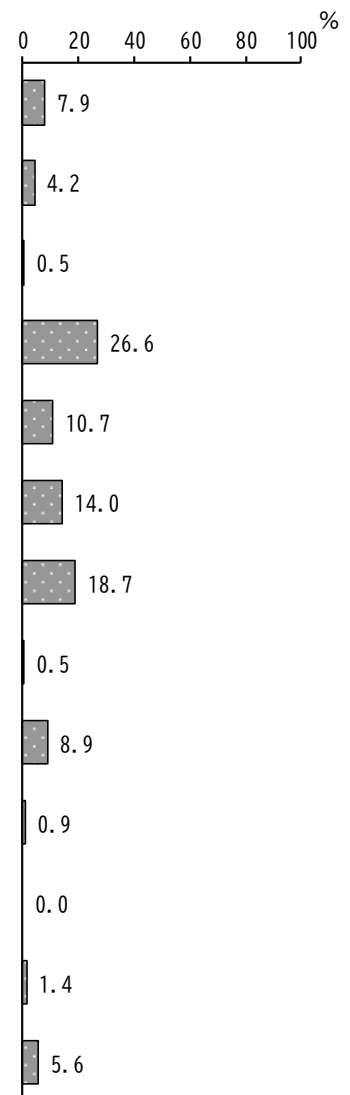


問 32 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 18.7%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 14.0%となっています。

回答者数 = 214

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
無回答



問 33 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 214

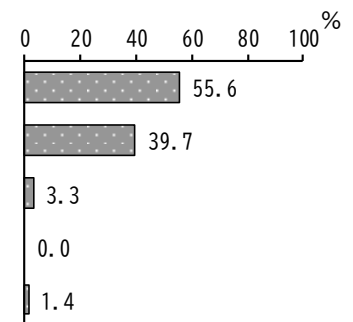
常にしている

ときどきしている

あまりしていない

まったくしたことがない

無回答

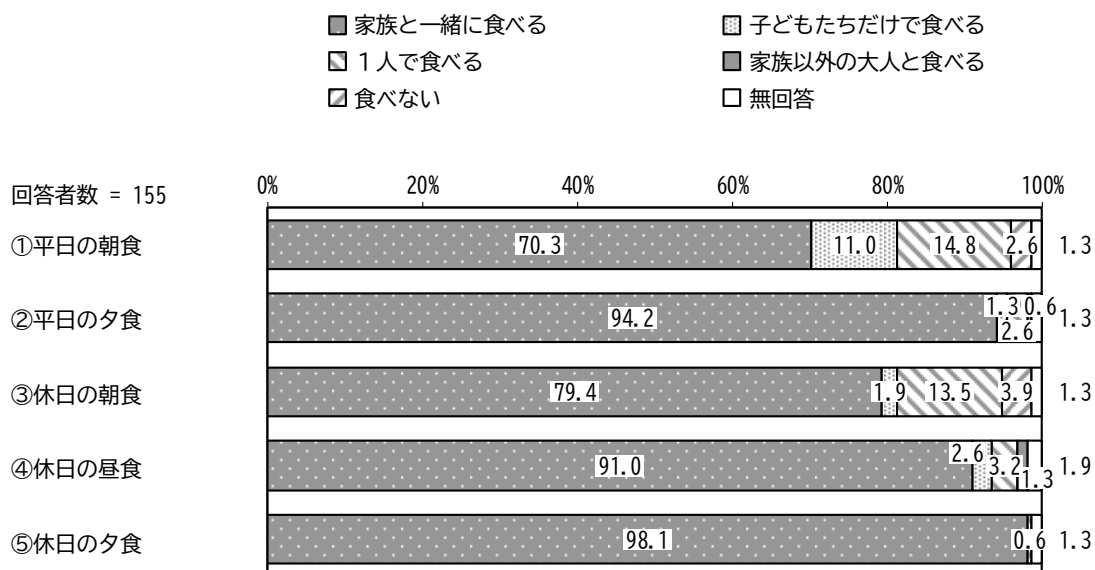


4 小学生本人

(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について

問4 あなたは主に誰と一緒に食事をしていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

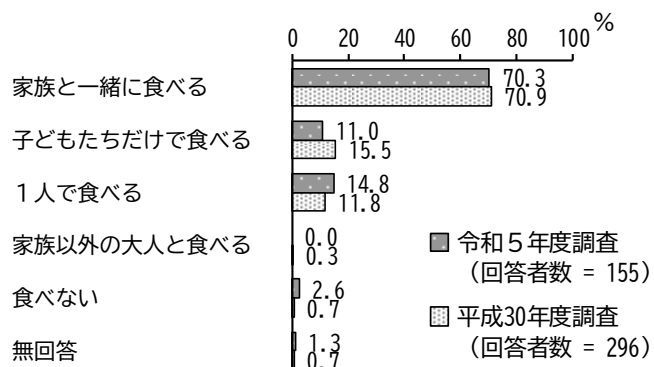
『①平日の朝食』で「子どもたちだけで食べる」の割合が、『⑤休日の夕食』で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。



①平日の朝食

「家族と一緒に食べる」の割合が70.3%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が14.8%、「子どもたちだけで食べる」の割合が11.0%となっています。

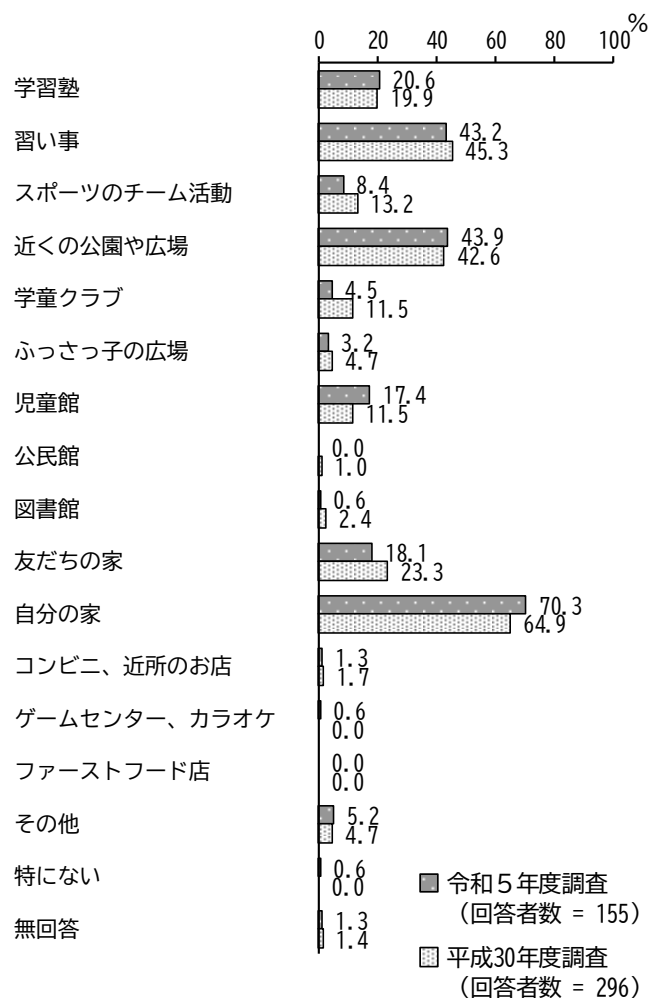
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 あなたは放課後どこにいますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

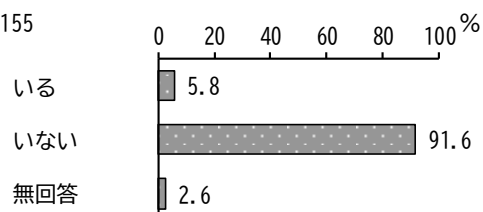
「自分の家」の割合が70.3%と最も高く、次いで「近くの公園や広場」の割合が43.9%、「習い事」の割合が43.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「児童館」「自分の家」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」「友だちの家」の割合が減少しています。



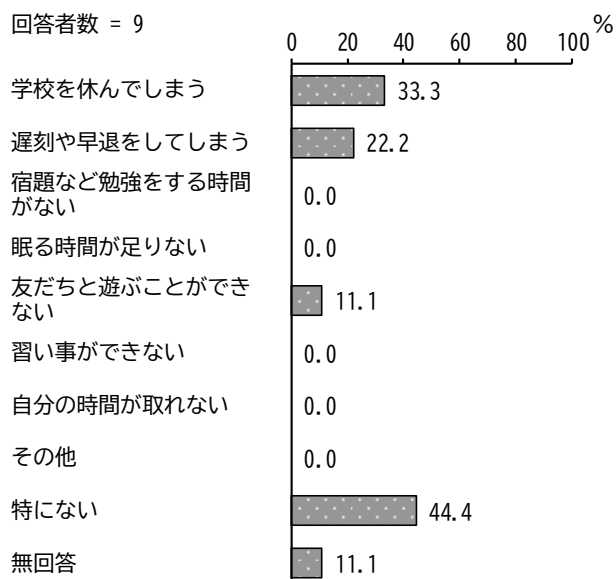
問9 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる」の割合が 5.8%、「いない」の割合が 91.6%となっています。 回答者数 = 155



問9-2 問9で「いる」に○をつけた方にうかがいます。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

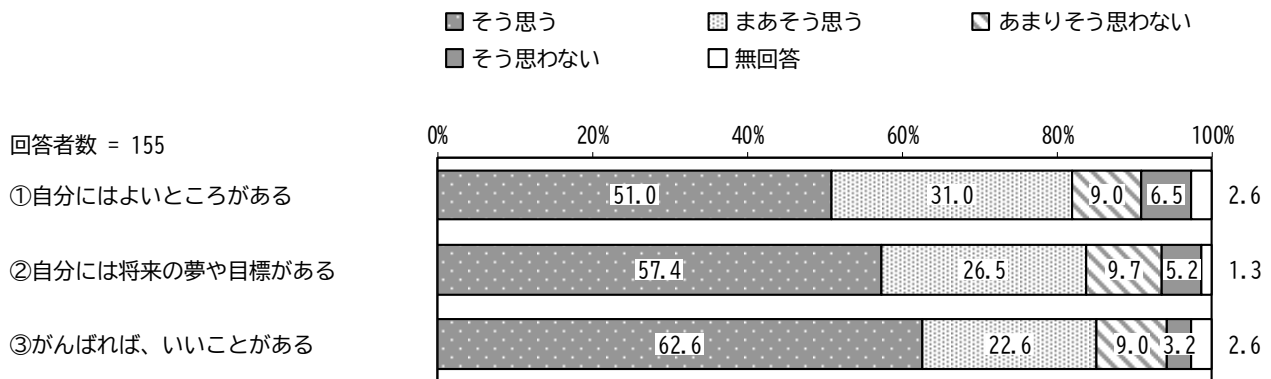
「特にない」が4件となっています。「学校を休んでしまう」が3件、「遅刻や早退をしてしまう」が2件となっています。 回答者数 = 9



(2) あなたの考えについて

問 10 あなたは、自分のことについてどう思いますか。それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

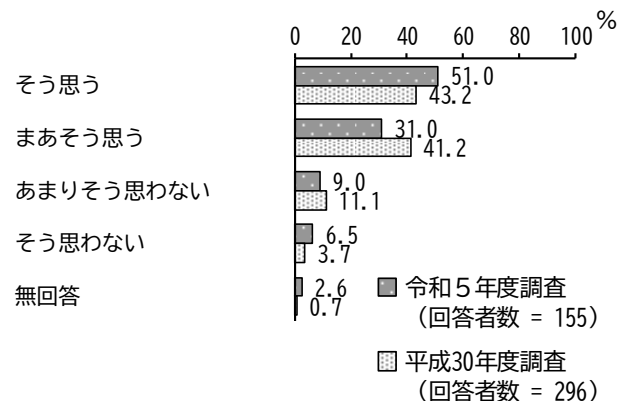
『③がんばれば、いいことがある』で「そう思う」の割合が高くなっています。



①自分にはよいところがある

「そう思う」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が 31.0%となっています。

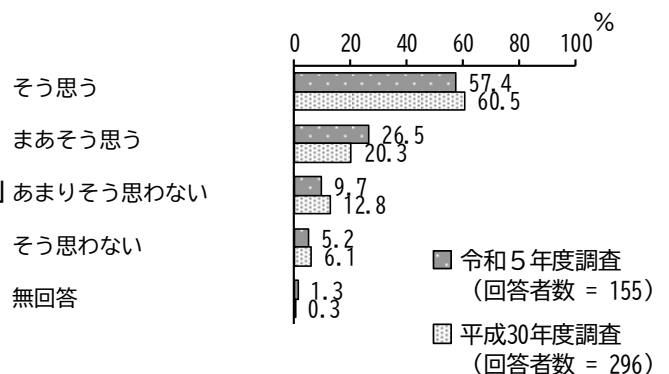
平成 30 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「まあそう思う」の割合が減少しています。



②自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が 26.5%となっています。

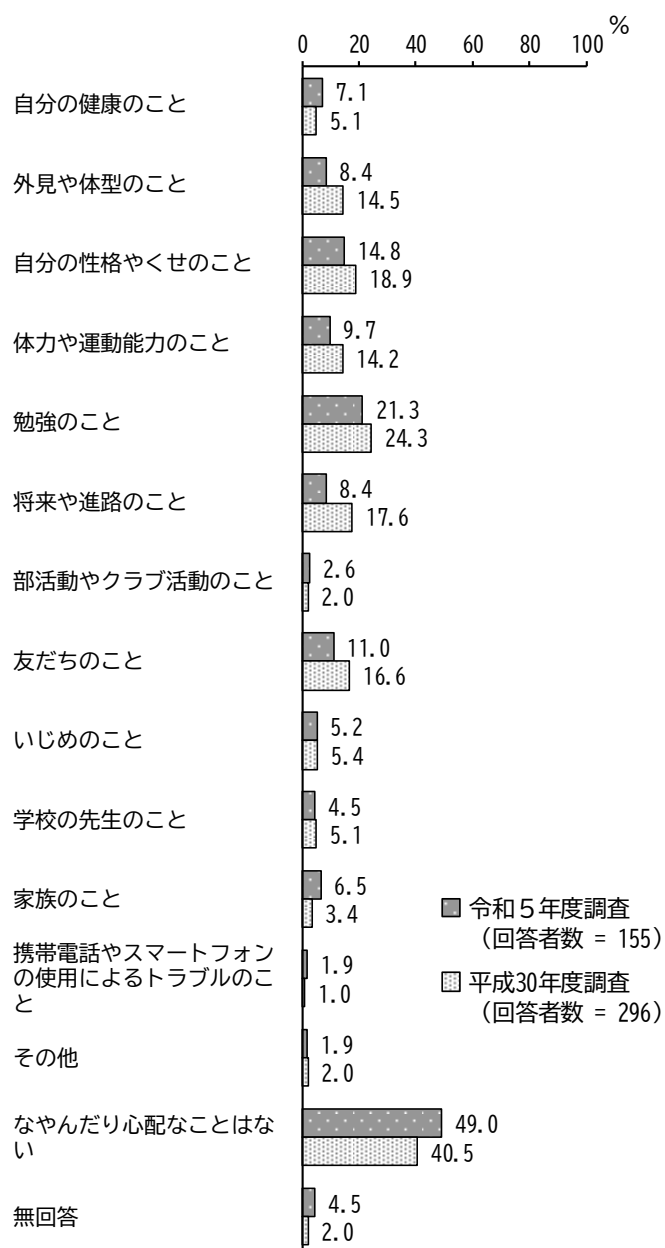
平成 30 年度調査と比較すると、「まあそう思う」の割合が増加しています。



問 11 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、相談したい
 と思っていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「なやんだり心配なことはない」の割合が
 49.0%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合
 が 21.3%、「自分の性格やくせのこと」の割合が
 14.8%となっています。

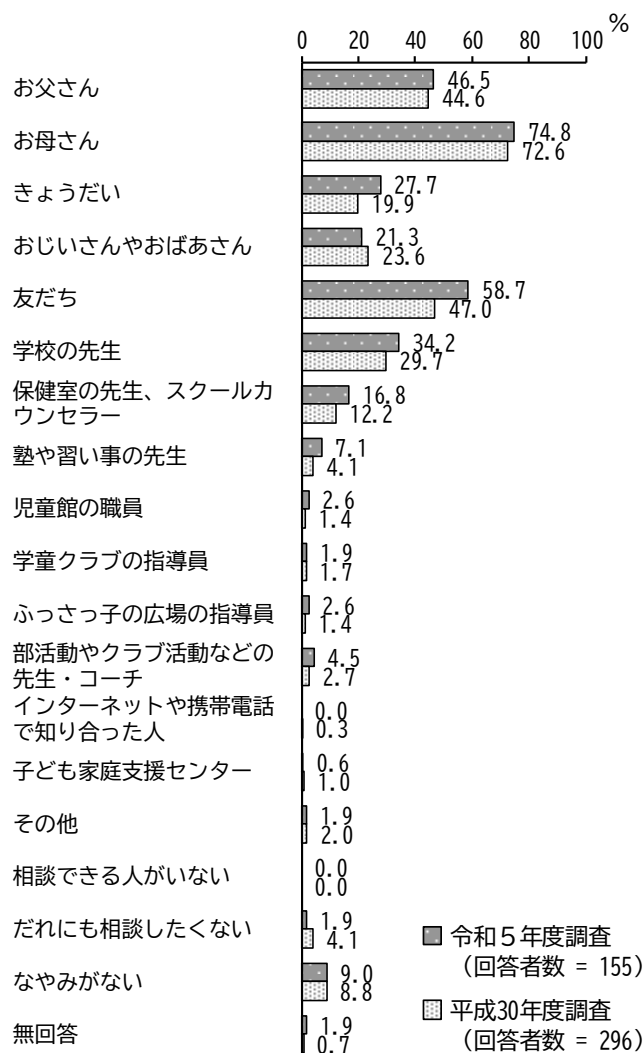
平成 30 年度調査と比較すると、「なやんだり心
 配なことはない」の割合が増加しています。一方、
 「外見や体型のこと」「将来や進路のこと」「友だ
 ちのこと」の割合が減少しています。



問 12 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

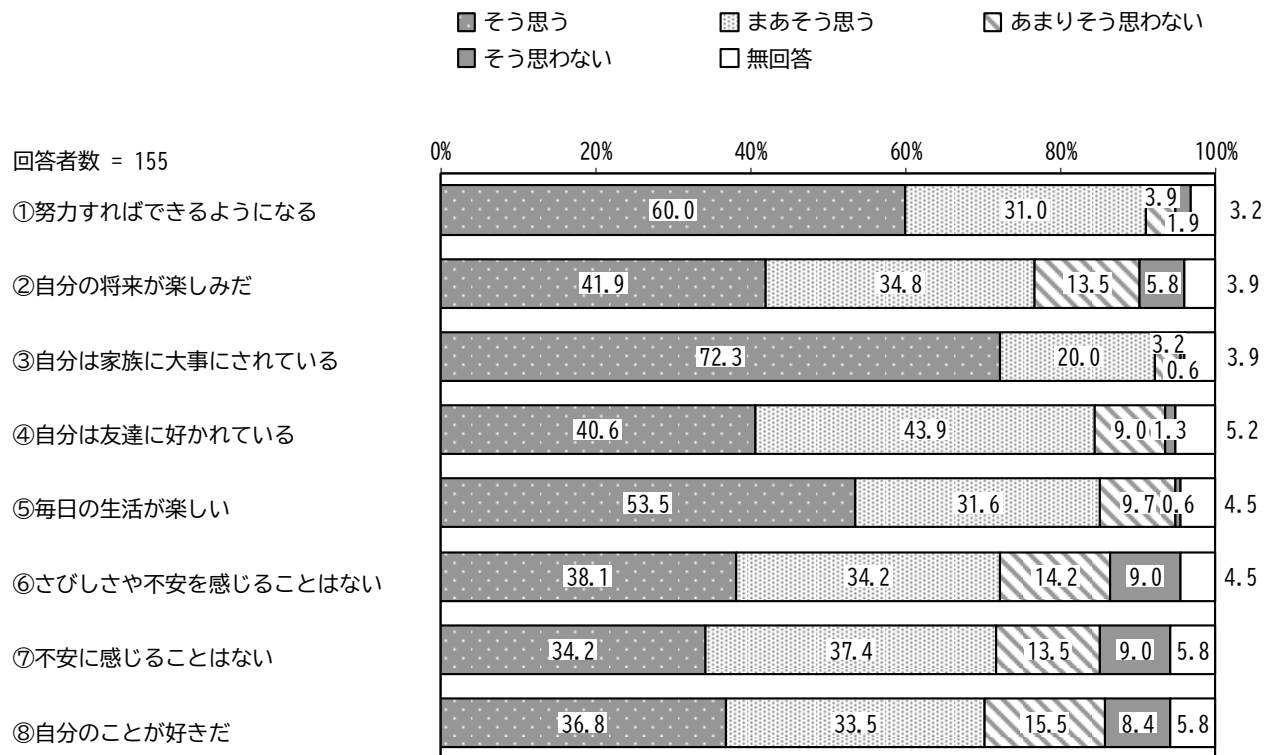
「お母さん」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 58.7%、「お父さん」の割合が 46.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「きょうだい」「友だち」の割合が増加しています。



問 13 あなたは、日常生活の中で以下の項目をどのように感じていますか。それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

『③自分は家族に大事にされている』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『⑦不安に感じることはない』『⑥さびしさや不安を感じることはない』で「そう思わない」の割合が高くなっています。

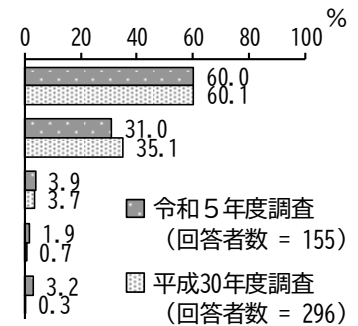


①努力すればできるようになる

「そう思う」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が 31.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

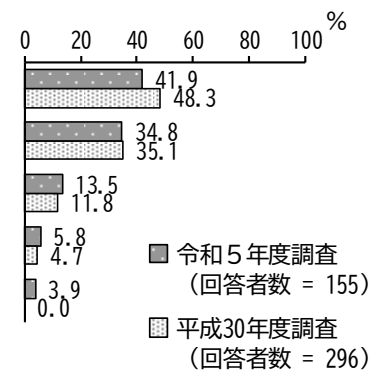


②自分の将来が楽しみだ

「そう思う」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が 34.8%、「あまりそう思わない」の割合が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

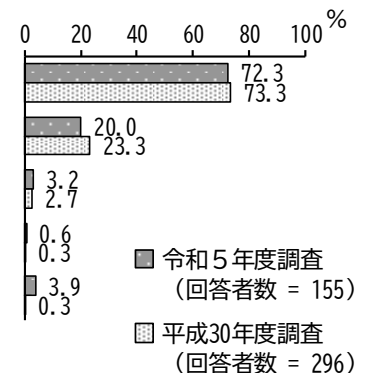


③自分は家族に大事にされている

「そう思う」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が 20.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

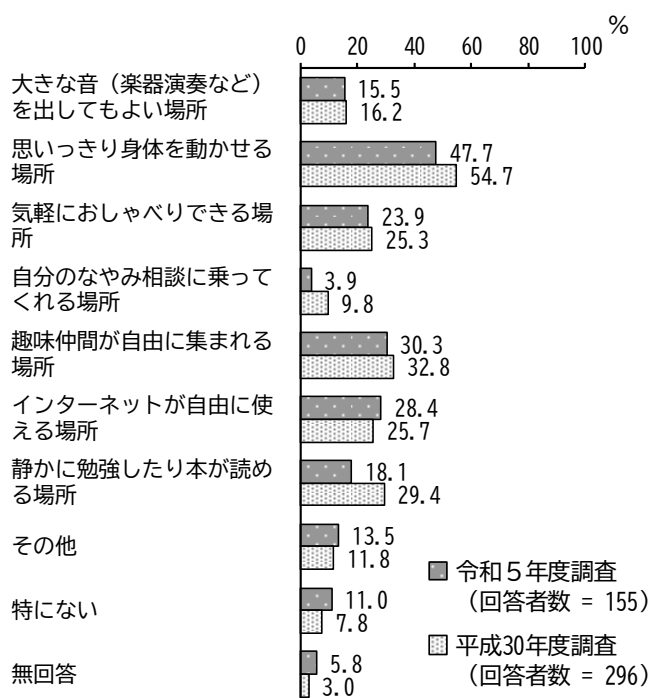
そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



問 15 若者向けにどんな場所がもっと福生市にあればよいと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が47.7%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が30.3%、「インターネットが自由に使える場所」の割合が28.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「思いっきり身体を動かせる場所」「自分のなやみ相談に乗ってくれる場所」「静かに勉強したり本が読める場所」の割合が減少しています。

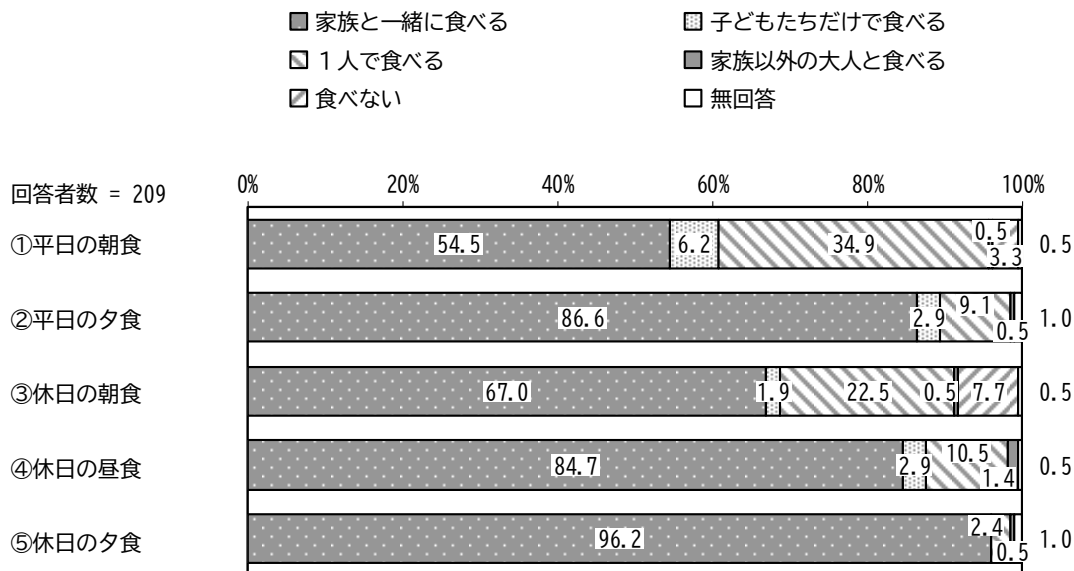


5 中学生本人

(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について

問4 あなたは主に誰と一緒に食事をしていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

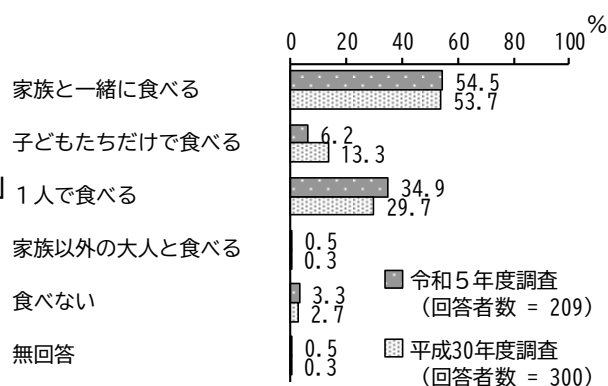
『①平日の朝食』で「1人で食べる」の割合が、『⑤休日の夕食』で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。



①平日の朝食

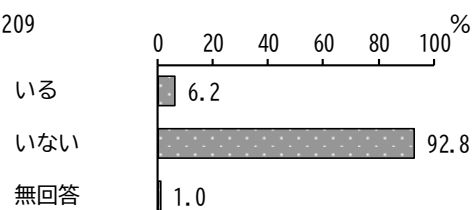
「家族と一緒に食べる」の割合が54.5%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が34.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人で食べる」の割合が増加しています。一方、「子どもたちだけで食べる」の割合が減少しています。



問9 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。（ここで「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。）当てはまる番号1つに○をつけてください。

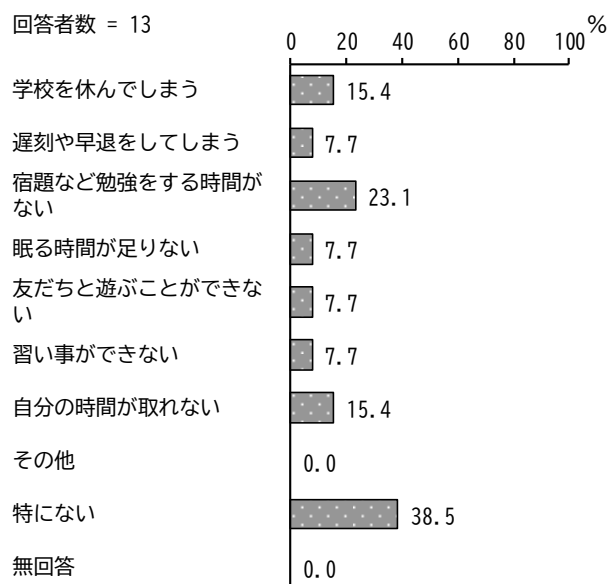
「いる」の割合が 6.2%、「いない」の割合が 92.8%となっています。 回答者数 = 209



問9-2 問9で「いる」に○をつけた方にうかがいます。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特にない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「宿題など勉強をする時間がない」の割合が 23.1%、「学校を休んでしまう」、「自分の時間が取れない」の割合が 15.4%となっています。

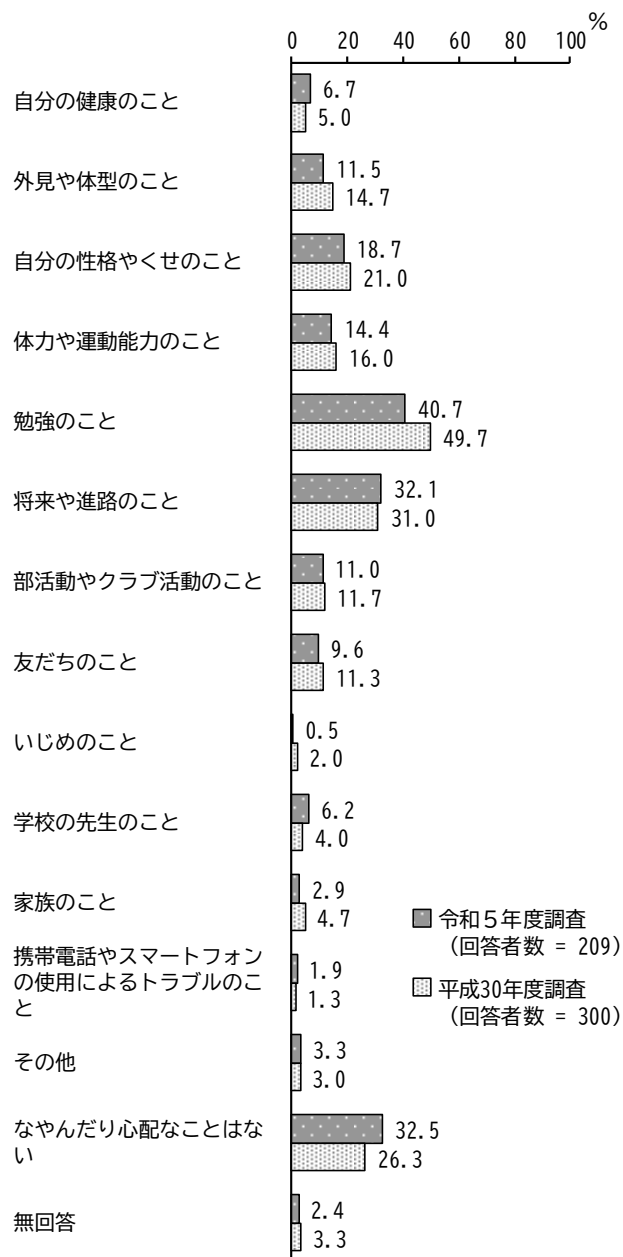
回答者数 = 13



問 11 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、相談したい
 と思っていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「勉強のこと」の割合が 40.7%と最も高く、次
 いで「なやんだり心配なことはない」の割合が
 32.5%、「将来や進路のこと」の割合が 32.1%と
 なっています。

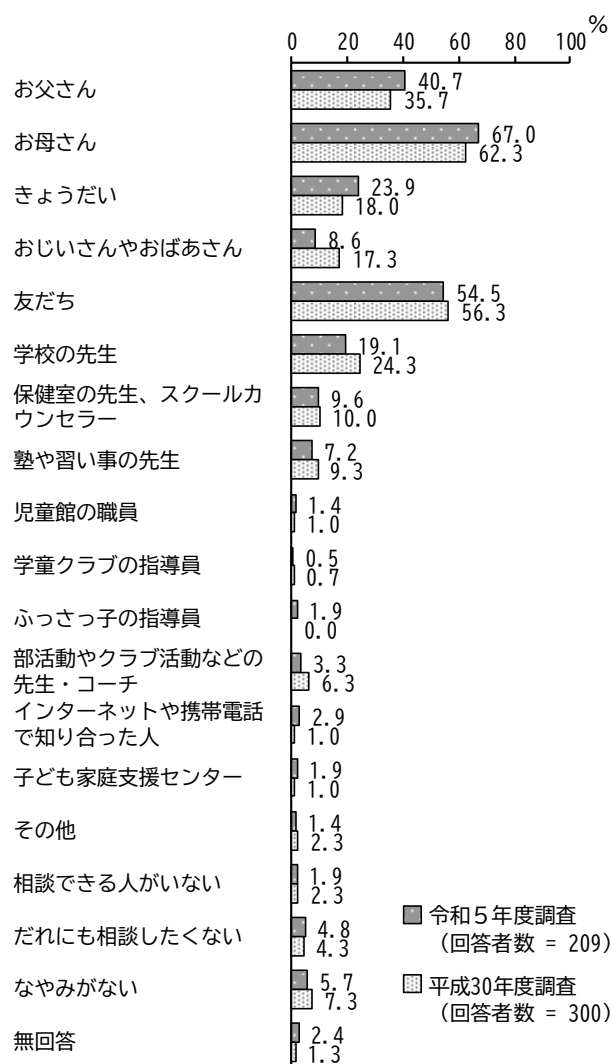
平成 30 年度調査と比較すると、「なやんだり心
 配なことはない」の割合が増加しています。一方、
 「勉強のこと」の割合が減少しています。



問 12 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「お母さん」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 54.5%、「お父さん」の割合が 40.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「きょうだい」の割合が増加しています。一方、「おじいさんやおばあさん」「学校の先生」の割合が減少しています。



子どもの権利に関するアンケート調査

I 調査の概要

1 調査目的

今後、福生市こども計画を策定することを想定し、子どもの権利に関するアンケート調査を実施するものです。

2 調査設計

(1) 調査対象者

令和5年11月1日時点において、福生市内の小・中学校に通う小学生（4年生から6年生まで）及び中学生、市内在住の高校生世代

(2) 配布数

①福生市内の小学校に通う小学生 （4年生から6年生まで）	1,113 名
②福生市内の小学校に通う中学生	1,110 名
③市内在住の高校生世代	600 名

(3) 調査方法

- ・小学生及び中学生については、学習用端末を使用し、インターネット回答
- ・高校生世代については、郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

(4) 抽出方法

- ・小学生及び中学生については、福生市内の福生市内の小・中学校に通う全小学4年生から中学3年生までを対象とした。
- ・高校生世代については、住民基本台帳から無作為に抽出を行った。

(5) 調査票発送日（高校生のみ）

- ・令和5年12月8日（金）

※小中学生については、令和5年11月30日（木）よりインターネット回答開始

(6) 書面上提出締切日

- ・小学生・中学生…令和5年12月25日（月）
- ・高校生世代 …令和5年12月28日（木）

3 回収結果（有効回収数）

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学生（子どもの権利）	1,113通	773通	69.5%
中学生（子どもの権利）	1,110通	511通	46.0%
高校生（子どもの権利）	600通	110通	18.3%

4 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

6 子どもの権利

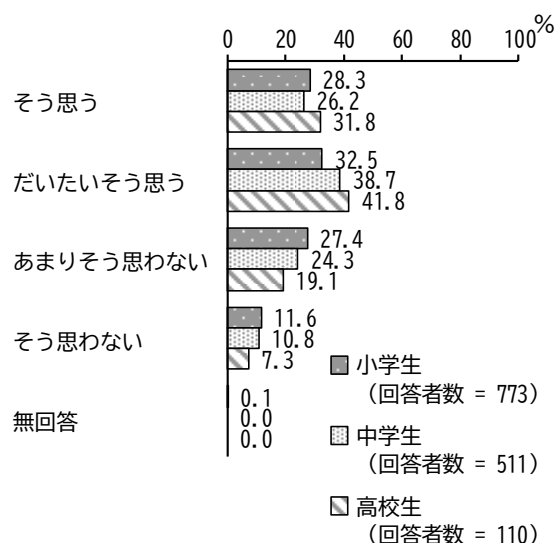
(2)「あなたの気持ち」について

問3 あなたは、自分のことが好きですか。

小学生では、「だいたいそう思う」の割合が32.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が28.3%、「あまりそう思わない」の割合が27.4%となっています。

中学生では、「だいたいそう思う」の割合が38.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が26.2%、「あまりそう思わない」の割合が24.3%となっています。

高校生では、「だいたいそう思う」の割合が41.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が31.8%、「あまりそう思わない」の割合が19.1%となっています。

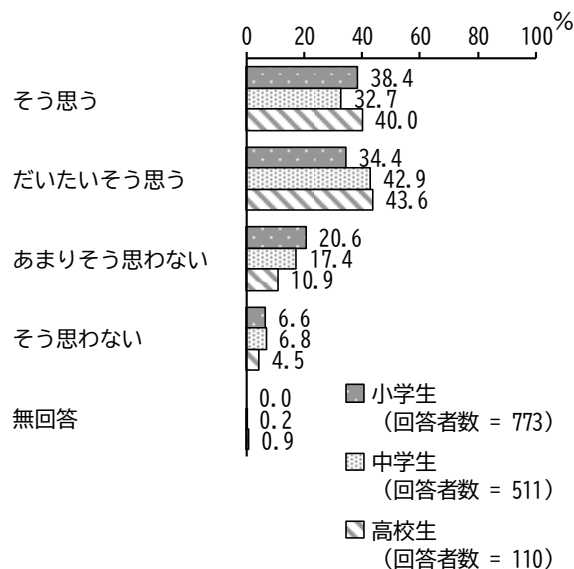


問4 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。

小学生では、「そう思う」の割合が38.4%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が34.4%、「あまりそう思わない」の割合が20.6%となっています。

中学生では、「だいたいそう思う」の割合が42.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が32.7%、「あまりそう思わない」の割合が17.4%となっています。

高校生では、「だいたいそう思う」の割合が43.6%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が40.0%、「あまりそう思わない」の割合が10.9%となっています。



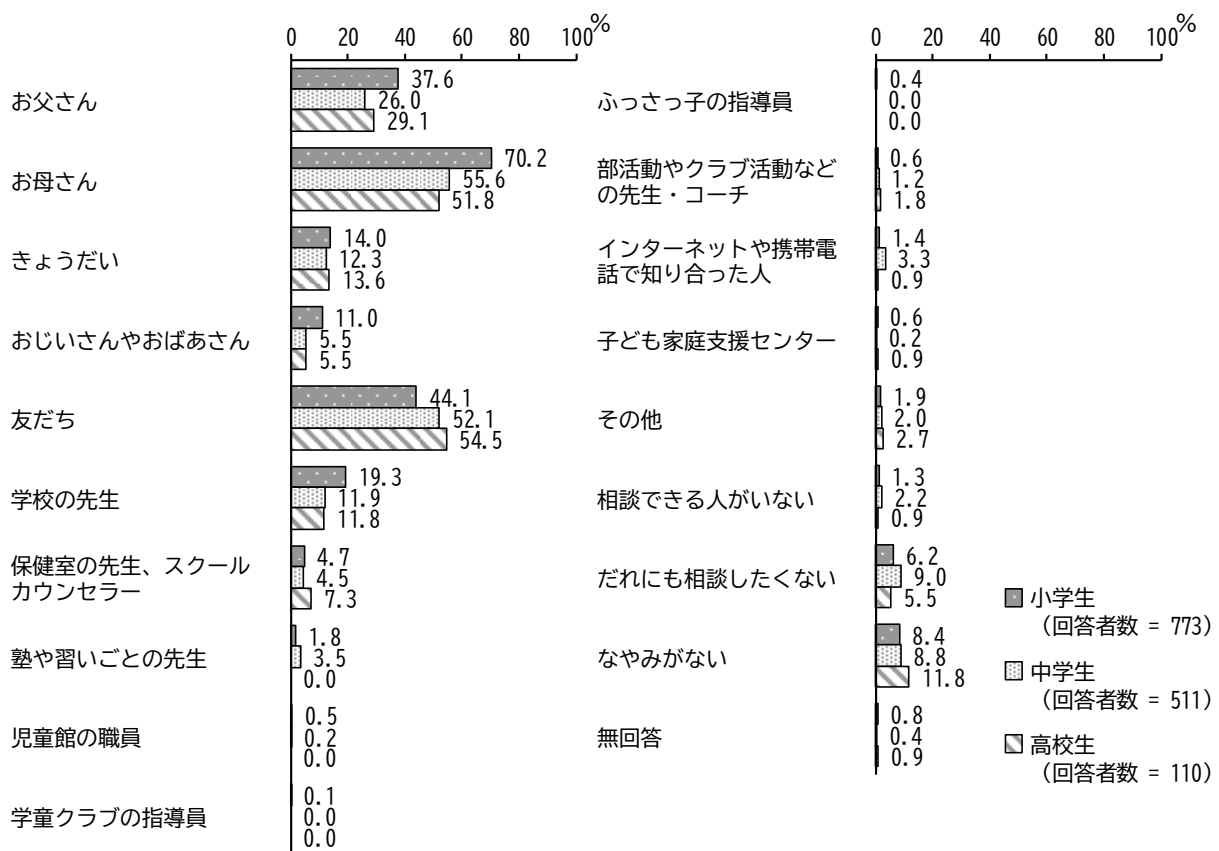
(3) 困っていること、つらいことの相談について

問8 困ったとき、つらいとき、だれに相談しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

小学生では、「お母さん」の割合が70.2%と最も高く、次いで「友だち」の割合が44.1%、「お父さん」の割合が37.6%となっています。

中学生では、「お母さん」の割合が55.6%と最も高く、次いで「友だち」の割合が52.1%、「お父さん」の割合が26.0%となっています。

高校生では、「友だち」の割合が54.5%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が51.8%、「お父さん」の割合が29.1%となっています。



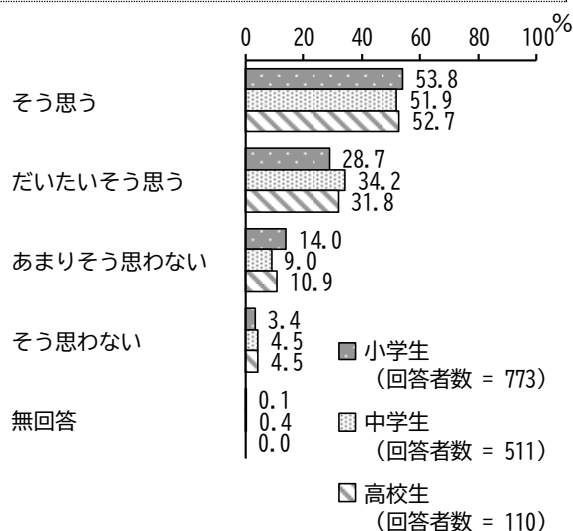
(4)「あなたの意見を言ったりする機会」について

問9 家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。

小学生では、「そう思う」の割合が53.8%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が28.7%、「あまりそう思わない」の割合が14.0%となっています。

中学生では、「そう思う」の割合が51.9%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が34.2%となっています。

高校生では、「そう思う」の割合が52.7%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が31.8%、「あまりそう思わない」の割合が10.9%となっています。

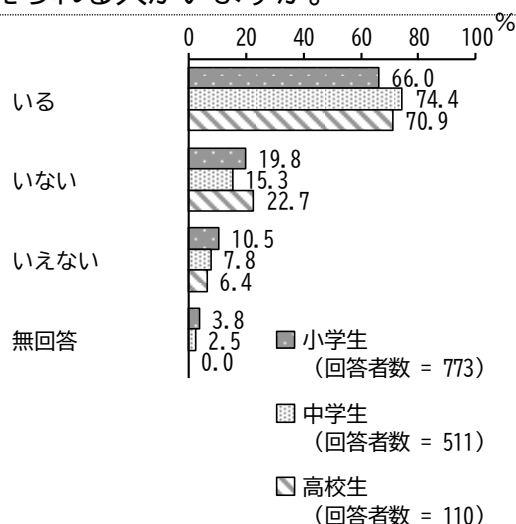


問13 学校で、あなたの考えや思っていることを伝えられる人がいますか。

小学生では、「いる」の割合が66.0%と最も高く、次いで「いない」の割合が19.8%、「いえない」の割合が10.5%となっています。

中学生では、「いる」の割合が74.4%と最も高く、次いで「いない」の割合が15.3%となっています。

高校生では、「いる」の割合が70.9%と最も高く、次いで「いない」の割合が22.7%となっています。

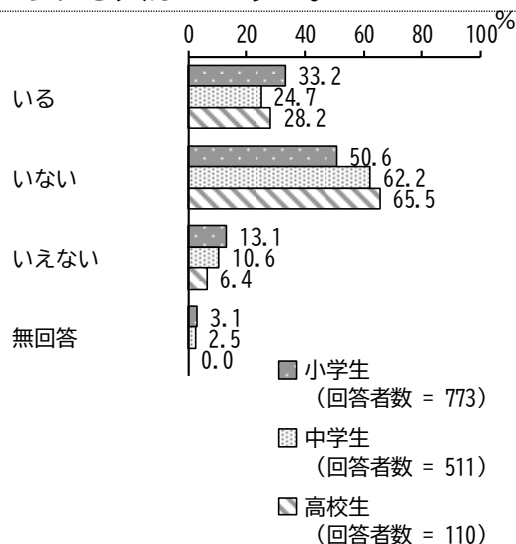


問15 地域で、あなたの考えや思っていることを伝えられる人はいますか。

小学生では、「いない」の割合が50.6%と最も高く、次いで「いる」の割合が33.2%、「いえない」の割合が13.1%となっています。

中学生では、「いない」の割合が62.2%と最も高く、次いで「いる」の割合が24.7%、「いえない」の割合が10.6%となっています。

高校生では、「いない」の割合が65.5%と最も高く、次いで「いる」の割合が28.2%となっています。



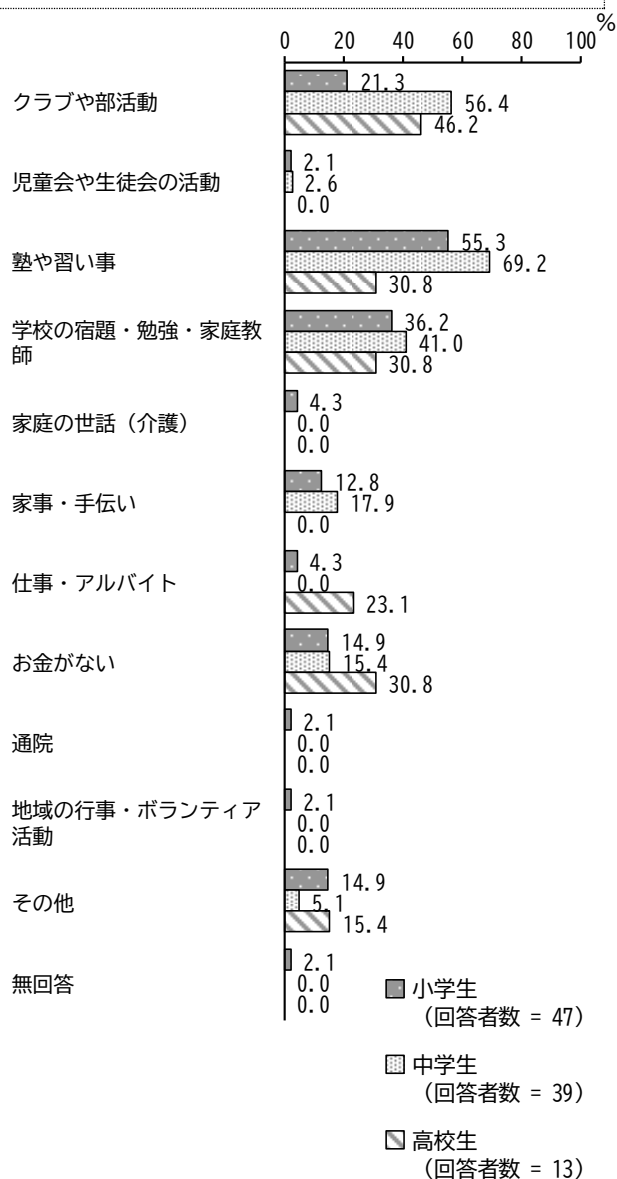
問 18 で、3、4に○をつけた人にお聞きします。

問 19 遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分ない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

小学生では、「塾や習い事」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「学校の宿題・勉強・家庭教師」の割合が 36.2%、「クラブや部活動」の割合が 21.3%となっています。

中学生では、「塾や習い事」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「クラブや部活動」の割合が 56.4%、「学校の宿題・勉強・家庭教師」の割合が 41.0%となっています。

高校生では、「クラブや部活動」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「塾や習い事」、「学校の宿題・勉強・家庭教師」、「お金がない」の割合が 30.8%となっています。

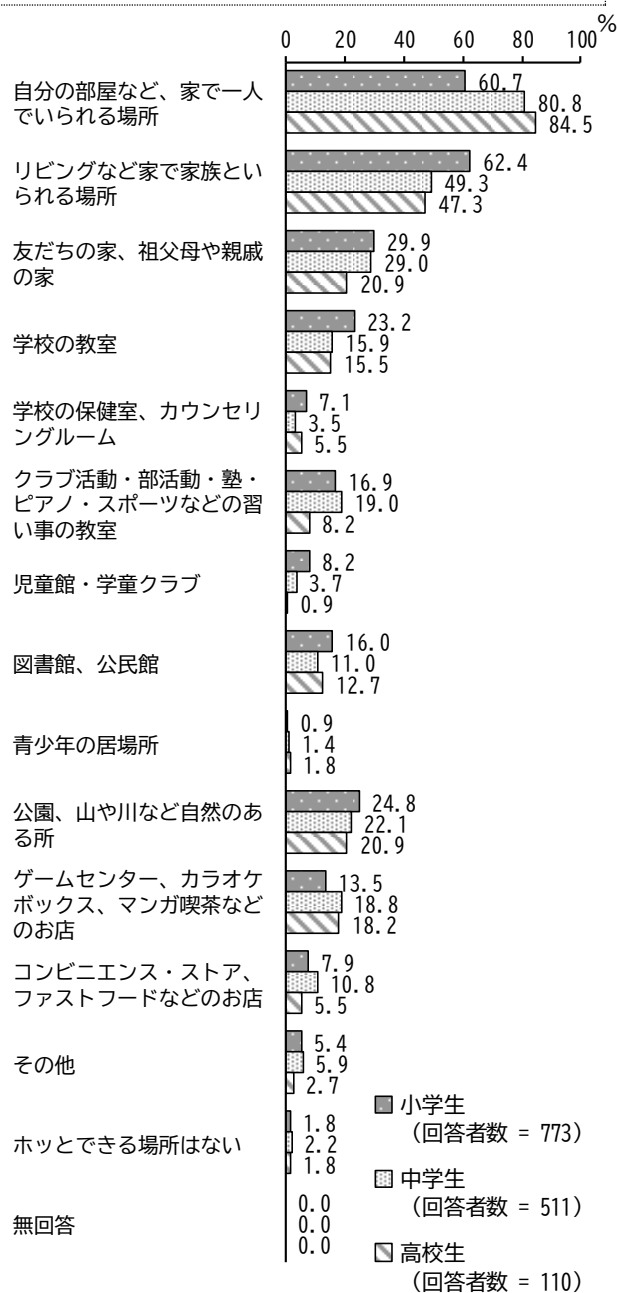


問 20 あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。あてはまるものにいくつでも
○をつけてください。

小学生では、「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が 60.7%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」の割合が 29.9%となっています。

中学生では、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が 49.3%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」の割合が 29.0%となっています。

高校生では、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が 84.5%と最も高く、次いで「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が 47.3%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」、「公園、山や川など自然のある所」の割合が 20.9%となっています。



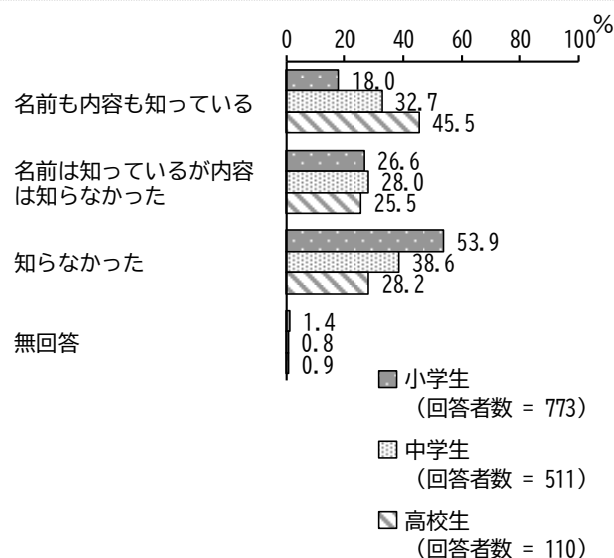
(7) その他について

問 24 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。

小学生では、「知らなかった」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 26.6%、「名前も内容も知っている」の割合が 18.0%となっています。

中学生では、「知らなかった」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が 32.7%、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 28.0%となっています。

高校生では、「名前も内容も知っている」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 28.2%、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 25.5%となっています。



子ども・子育て支援に関するアンケート調査

令和6年3月

福生市子ども家庭部 子ども政策課

〒197-8501 東京都福生市本町 5

TEL:042-551-1733

FAX:042-551-2133